

ID 番号	「メニュー→機器設定→システム設定→B-CASカード」で確認 できる「カードID」の番号を記入してください。 問い合わせのときに必要な場合があります。	カードID (B-CASカード番号)
----------	---	--------------------

●使いかた・お手入れなどのご相談は …

パナソニック 総合お客様サポートサイト
<http://www.panasonic.com/jp/support/>
 パソコン・スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。

パナソニック VIERA(ビエラ)ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-981** パナは キュウハチイチ
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用
 いただけない場合 **06-6907-1187** ■FAX **0120-878-236**
フリーダイヤル

Help desk for foreign residents in Japan
 Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は……………

パナソニック 修理サービスサイト
<http://club.panasonic.jp/repair/>
 インターネットでの依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-878-554** パナは イイヨ
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

・上記電話番号がご利用いただけない場合は、
 各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検	長年ご使用のテレビの点検を！ テレビセットを長期ご使用になりますと、 内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって 故障する場合があります。	ちょっとした 心づかいで テレビの安全
	こんな症状は ありませんが ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が連続してチラツいたりユレたりする。 ●ジージー・パチパチと異常な音が出る。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。	ご使用 中止 故障や事故防止の ため、電源を切り、 コンセントから電 源プラグを抜いて、 必ず販売店に点検 をご相談ください。

廃棄時にご注意
願います！

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください
 お宅の家電情報をまとめて登録管理！エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！

PC <http://club.panasonic.jp/>

携帯 <http://mobile.club.panasonic.jp/>

※このサービスは
WEB 限定のサービスです。

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

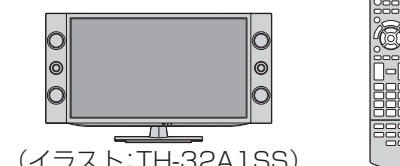
© Panasonic Corporation 2014

Panasonic®

VIERA ビエラ



(イラスト: TH-50A1SS)



(イラスト: TH-32A1SS)

「取扱説明書」(本書)および「ビエラ操作ガイド」
 (テレビに内蔵)をよくお読みのうえ、正しく
 安全にお使いください。

詳しく知りたいときは

ビエラ操作ガイド(テレビに内蔵)



ガイド
リモコンの **[?]** を押して表示
 (使いかたは、**36～39ページ**)

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用前に「安全上のご注意」(36～39ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。(36～39ページ)
- 取扱説明書は、50V型(TH-50A1SS)と32V型(TH-32A1SS)共用です。
- 製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、
製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

取扱説明書

地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

品番 TH-50A1SS(50V型)
TH-32A1SS(32V型)

機器をつなぐときは

基本の操作は

よく使う操作は

安全上
の
ご注意

準
備

接
続
・
設
定

使
い
か
た

かん
たん
操
作

必要
な
と
き



TQB4GC1247
M0214-0

こんなことができます

デジタル放送の視聴

📖 8ページ

本機では、地上デジタル放送・BSデジタル放送・110度CSデジタル放送が視聴できます。

エコナビ

📖 55ページ

視聴環境や使用環境に応じて、本機が自動的に本機および周辺機器を制御して、消費電力を低減します。

録画(録画予約)、再生

📖 44ページ

本機からディーガやUSBハードディスクなどに録画できます。

ビエラリンク(HDMI)

📖 42ページ

対応機器を接続すると、本機から操作したり、自動的に連動させることができます。

ビエラ操作ガイドに詳しい説明があるときは下記の表示をしています。



当社ホームページから最新の取扱説明書やビエラ操作ガイド(PDF形式)を閲覧したり、ダウンロードすることができます。
(<http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html>)

●この取扱説明書やビエラ操作ガイドのイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
●この取扱説明書の説明イラストは、TH-50A1SSを元に作成しています。

「安全上のご注意」を必ずお読みください(📖 4~7ページ)

準備

接続・設定

● 本機で楽しめる放送	8	● アンテナ線の接続	22
● 付属品・別売品	10	● いろいろな機器の接続	24
● B-CASカードの挿入	11	● ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続	26
● 据置きスタンドの取り付け	12	● ビエラリンクを使わない機器の接続	27
● 転倒・落下防止	16	● USB機器の接続	28
● 各部のはたらき	18	● ケーブル・コード一覧(別売品)	28
		● 電源コードについて	29
		● かんたん設置設定	30
		● 設置設定を再設定する(チャンネル設定・受信設定)	32

使いかた

かんたん操作

● ビエラ操作ガイドの使いかた	36	● ダビングする(USBハードディスク→ディーガ)	52
● テレビを見る	40	● 再生する(USBハードディスク)	54
● 番組表から番組を選んで見る	41	● エコナビ・音声ガイド	55
● ビエラリンク(HDMI)を使う	42	● ブロードバンド環境への接続・設定	56
● ビエラリンクで接続したディーガに録画を予約する	44		
● ビエラリンクで接続したディーガに録画した番組を再生する	45		
● USBハードディスクを使う	46		
● USBハードディスクにしている番組を録画する	49		
● USBハードディスクに録画を予約する	50		
● USBハードディスクに録画した番組を再生する	51		

必要なとき

● 文字入力について	58	● 故障かな!?	66
● メニュー一覧	60	● リモコンモードについて	67
● 商標などについて	62	● Quick Reference Guide	68
● 壁掛け金具の設置(別売品)	63	● 仕様	69
● 取り扱いについて	64	● 保証とアフターサービス	70

本機はインターネット(LAN)接続による双方向(データ放送)サービスに対応しています。ただし、電話回線接続による双方向(データ放送)サービスはご利用になれません。

安全上のご注意

準備

接続・設定

使いかた

かんたん操作

必要なとき

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

 気をつけていただく内容です。

警告

異常・故障について

異常・故障時は直ちに使用を中止してください



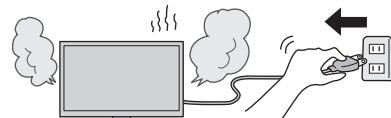
電源プラグを抜く

■異常があったときは電源プラグを抜いてください

- ・煙が出たり、異常な臭いや音がある
- ・映像や音が出ないことがある
- ・内部に水などの液体や異物が入った
- ・本機に変形や破損した部分がある

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。



水ぬれについて



水ぬれ禁止

■本機の上に液体の入った容器などを置かないでください

液体がこぼれて内部に入ると火災・感電の原因になります。



水場使用禁止

■風呂場などで使用しないでください

火災・感電の原因になります。



異物について



■内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れないでください

火災・感電の原因になります。

- 特にお子様にはご注意ください。



警告

電源コード・電源プラグについて

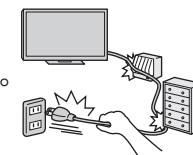


■破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など)

感電やショートによる火災の原因になります。

- 修理は、販売店にご依頼ください。



■傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください

■本機に付属のもの以外は使用しないでください

感電やショートによる火災の原因になります。

- 修理は、販売店にご依頼ください。



■交流 100 V以外で使用しないでください

■コンセント・配線器具の定格を超えて使わないでください

■たこ足配線などをしないでください

発熱による火災の原因になります。



ぬれ手禁止

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください

感電の原因になります。



■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。



■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください

ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



設置について



■不安定な場所に置かないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。



■壁掛け設置工事は、工事専門業者にご依頼ください

工事が不完全ですと、死亡・けがの原因になります。

- 指定の取り付け金具をご使用ください。

雷について



接触禁止

■雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線には触れないでください



分解禁止について



分解禁止

■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しないでください

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



高圧注意

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

⚠ 注意

本機の取り扱いについて

❌ ■強い力や衝撃を加えないでください
液晶パネルのガラスが割れて、
けがの原因になることがあります。

❌ ■乗らないでください
■ぶらさがらないでください
倒れたり、こわれたり
してけがの原因に
なることがあります。

❌ ■上に物を置かないで
ください
落下してけがの原因に
なることがあります。

❌ ■付属のスタンドは本機以外には
使用しないでください
けがの原因になることがあります。

❌ ■接続ケーブルを無理に曲げたり、
引っぱたり、ねじったりしないで
ください
火災・感電の原因になることがあります。

❗ ■接続ケーブルを壁面に挟んだり、
足をひっかけたりしないように
処理を行ってください
火災・感電・けがの原因になること
があります。

設置について

❌ ■通風孔をふさがないでください
■据置きスタンド使用時は本機
下面と床面との空間をふさが
ないでください

■風通しの悪い狭い所で使用
しないでください

■あお向けや、横倒し、逆さまに
して使用しないでください
内部に熱がこもり、
火災の原因になる
ことがあります。

❌ ■湿気やほこりの多い所、油煙や湯
気が当たるような所(調理台や加
湿器のそばなど)に置かないでく
ださい

火災・感電の
原因になる
ことがあります。

❗ ■付属の転倒・落下防止部品を使用
して固定してください
■ねじ止めをする箇所は、すべて
しっかり止めてください
転倒・落下によるけがの原因になる
ことがあります。
●転倒・落下防止処置は16～17ページ参照。

❗ ■本機の上面、左右、後面は10 cm以上
の間隔をおいて据えつけてください
内部に熱がこもり、火災の原因に
なることがあります。

❌ ■据置きスタンドは、指定の手順以外
では取り外さないでください
倒れたりしてけがの原因になるこ
とがあります。(13、15ページ参照)

(工事専門業者様へ)

❗ ■壁掛け金具を使用するときは、施工
説明書に従ってお取り付けください
落下してけがの原因になることが
あります。

⚠ 注意

電池の取り扱いについて

❌ ■新しい電池と古い電池を混ぜたり、
指定以外の電池を使用しないで
ください

■日光、火などの過度な熱に
さらさないでください
取り扱いを誤ると、電池の破裂、
液もれにより、火災・けがや周囲を
汚損する原因になることが
あります。

❌ ■極性(プラス⊕とマイナス⊖)を
逆に入れないでください
取り扱いを誤ると、電池の破裂、
液もれにより、火災・けがや周囲を
汚損する原因になることが
あります。
挿入指示通り正しく入れてください。
(21ページ参照)

❗ ■長期間使わないときは、リモコン
から電池を取り出してください
液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、
火災や周囲汚損の原因になることが
あります。

移動について

❗ ■移動させる前に接続線などをはず
してください
(電源プラグ、アンテナ線、機器間
の接続線や転倒・落下防止部品)
電源コードや本機が損傷し、火災・
感電の原因になることがあります。

<TH-50A1SSのみ>

❗ ■開梱や持ち運びは2人以上で行って
ください
落下してけがの原因になることが
あります。

お手入れについて

⚠ ■通風孔に付着したゴミを
こまめに取り除いてください
長い間掃除をしないと内部に
ほこりがたまり、火災・故障の
原因になることがあります。
●湿気の多くなる梅雨時の前に
行うとより効果的です。なお、
内部の掃除依頼、費用につい
ては、販売店または70ページの
連絡先にご相談ください。

➡ ■お手入れの前に、安全のため
電源プラグをコンセントから
抜いてください
感電の原因になることがあります。

アンテナについて

❗ ■アンテナ工事は、販売店に
ご相談ください
アンテナが倒れた場合、感電の
原因になることがあります。
●送配電線から離れた場所に
設置してください。
●BS、CS放送受信用のアンテナ
は強風の影響を受けやすいので
しっかり取り付けてください。

電源プラグについて

➡ ■長期間使用しないときは
コンセントから抜いてください
電源プラグにほこりがたまり火災・
感電の原因になることがあります。

❗ ■電源プラグを持って抜いて
ください
電源コードを引っばると破損
し、火災・感電・ショートの原因
になることがあります。

本機で楽しめる放送

本機はデジタル放送専用です。

地上デジタル放送について

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。
(2014年2月現在)

- 本機ではワンセグ放送は受信できません。
- 受信するためには、地上デジタルの送出局に向けてアンテナを設置する必要があります。
- 地上デジタル専用のUHFアンテナやブースター、混合器などが必要になる場合があります。
(従来の地上アナログ放送用UHFアンテナでは、視聴地域の特定チャンネルに対応していることがあり、受信できない場合があります。)
- 受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
- 放送出力が増大された場合に、受信設備(ブースターなど)の再調整、変更が必要になる場合があります。
- 地上デジタル放送がケーブルテレビで配信されている場合があります(CATVパススルー方式)。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

地上デジタル放送を見るためには



お問い合わせ先(地デジ放送について)

- 総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター(地デジコールセンター)
電話番号:0570-07-0101(IP電話等でつながらない場合は、03-4334-1111)
受付時間:平日…9:00~18:00、土日・祝日…9:00~18:00
- 社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>

衛星(BS・110度CS)放送について

■BSデジタル放送

放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジ、放送大学などは無料放送を行っています。WOWOW(ワウワウ)やスター・チャンネルなどの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。

■110度CSデジタル放送

通信衛星(Communications Satellite)を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。

110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。「スカパー！」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

- 衛星アンテナには電源供給が必要です。共同受信時や個別受信により、電源の供給設定が異なります。本機での電源設定は35ページをご参照ください。なお、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器は、全端子電流通過型をご使用ください。
- 既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、BS・110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
- 本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダーなどを接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へ接続してください。レコーダーなどの接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。

お問い合わせ先

- 「WOWOW」 公式ホームページ:<http://www.wowow.co.jp/>
カスタマーセンター:0120-580-807 受付時間 9:00~20:00(年中無休)
- 「スター・チャンネル」 公式ホームページ:<http://www.star-ch.jp/>
カスタマーセンター:0570-013-111(ナビダイヤル)
(PHS・IP電話のかたは045-650-4724) 受付時間 10:00~18:00
 - スター・チャンネル ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！カスタマーセンターへお問い合わせください。
- 「スカパー！」 公式ホームページ:<http://www.skyperfectv.co.jp/>
スカパー！カスタマーセンター(総合窓口)
TEL:【ナビダイヤル】0570-039-888
PHS・IP電話の場合:03-4334-7777
受付時間 10:00~20:00(年中無休)

本機では、電話回線を利用した新規加入の申し込みはできません。
ご利用の放送局やサービス会社にお問い合わせください。

ケーブルテレビ(CATV)を受信する場合

- ケーブルテレビの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
- さらにスクランブル放送(有料)はアダプター(ホームターミナル)が必要です。
- 詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
- ケーブルテレビで地上デジタル放送が配信されている場合があります(CATVパススルー方式)。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

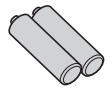
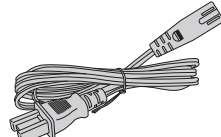
付属品・別売品

付属品

- ヘッドホン・イヤホン、ディーガ、DVDプレーヤーなどの接続コード類、アンテナ接続用の同軸ケーブルなどは別途必要です。



設置や接続の前に、まず付属品をお確かめください。 〈 〉は個数です。

☐ リモコン……………〈1〉 (20ページ)  (品番: N2QAYB000814)	☐ 単3形乾電池……………〈2〉 (リモコン用) (21ページ) 	☐ B-CASカード……………〈1〉 (11ページ) 表面  裏面  (カードの紛失時は 11ページ)
☐ 電源コード……………〈1〉 (29ページ)  (品番: K2CA2YY00249)	☐ 取扱説明書……………〈1〉 	
☐ 据置きスタンド……………〈一式〉 (12～15ページ) ☐ 転倒・落下防止部品……………〈一式〉 (16～17ページ)	☐ 壁掛け金具取り付け用部品……………〈4〉 (63ページ) (品番: THE4GC002J) 転倒・落下防止部品と同じ袋に入ってます (TH-32A1SSのみ)	

- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。
(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。
(サービスルート扱い)

別売品

- 壁掛け金具
本機を壁掛け設置するときに使用します。(63ページ)

B-CASカードの挿入

- カードおよび台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、必ず挿入してください。
- 挿入しないとデジタル放送が映りません。
- 「使用許諾契約約款」をよくお読みください。

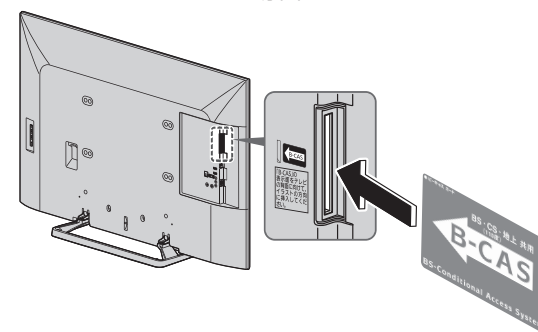
BS/地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送されています。
コピー制御を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

1 本体の電源ボタンで電源を切る (19ページ)

2 B-CASカードを挿入する

- カードの矢印表示面を背面(画面と反対側)に向けて、矢印方向へ止まるまで押し込む
- B-CASカードは折り曲げないように挿入してください。
 - B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
 - ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

〈TH-50A1SSの場合〉



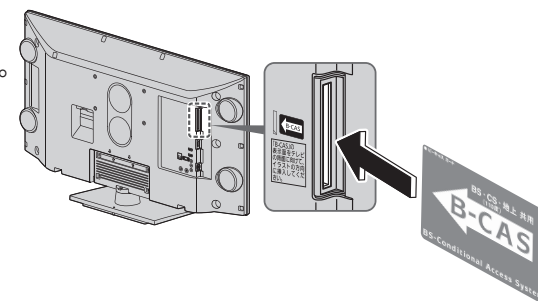
■ B-CASカードのテストをする

B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上たってから、B-CASカードテストを行ってください。

■ B-CASカードを抜くとき

- (1) 本体の電源ボタンで電源を切る。
 - (2) B-CASカードを抜く。
- B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

〈TH-32A1SSの場合〉



B-CASカードについて

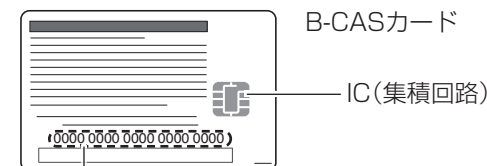
- 台紙に添付されています。
※台紙をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。

■ B-CASカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC(集積回路)部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

■ B-CASカードについてのお問い合わせ(故障交換や紛失時など)は

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-250



- カードID
- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「カードID(B-CASカード番号)」記入欄にメモしておいてください。

準
備

付属品・別売品／B-CASカードの挿入

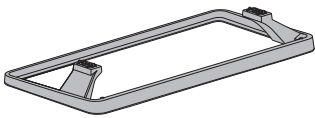
据置きスタンドの取り付け

本機には据置きスタンドを付属しています。据置きスタンドをご使用の際は、組み立てかたをよくお読みのうえ、しっかりとテレビ本体へ取り付けてご使用ください。

構成部品と組み立てかた

TH-50A1SSの場合

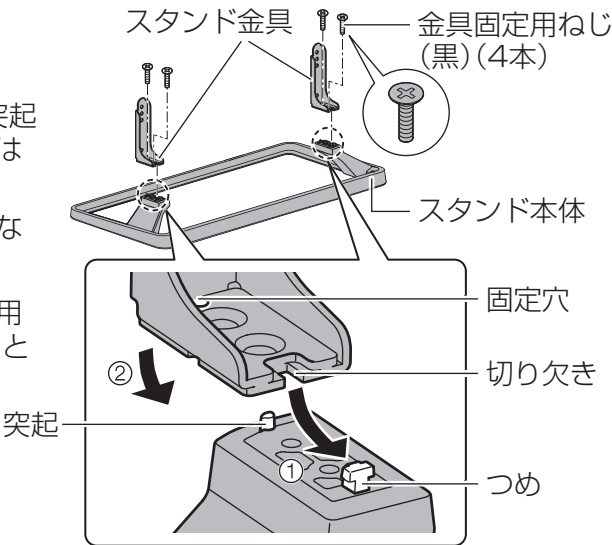
〈 〉は個数です。

□ スタンド本体 …………… 〈1〉  (品番:TBL5ZX08771)	
□ スタンド金具 …………… 〈2〉  (品番:TBL5ZA35091)	
組み立て用ねじ □ 金具固定用ねじ …………… 〈4〉  (M5×15)(黒) (品番:XSS5+15FNK) □ 本体固定用ねじ …………… 〈4〉  (M4×12)(黒) (品番:THE5ZL002N)	

- 構成部品の品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。(サービスルート扱い)

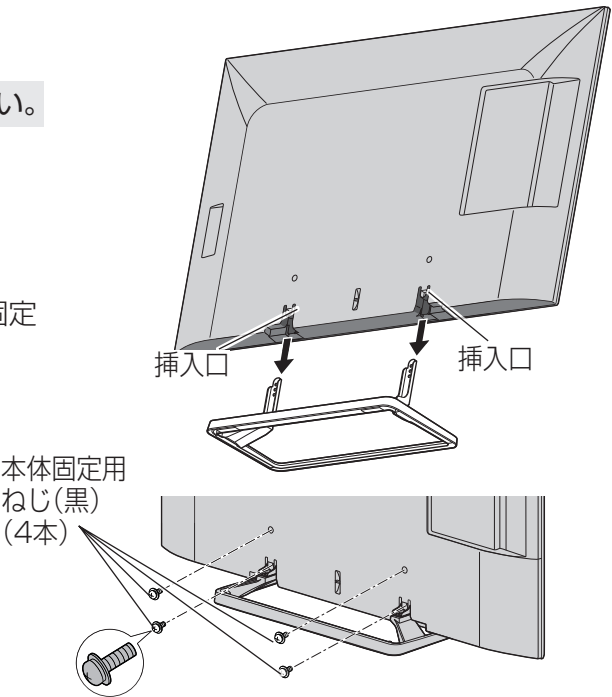
1 スタンド金具を取り付ける

- (1) スタンド本体のつめにスタンド金具の切り欠きをひっかけ、スタンド本体の突起にスタンド金具の固定用穴を合わせてはめこむ。
 - スタンド金具がつめの上に乗り上げないように注意してください。
- (2) スタンド金具を押さえながら金具固定用ねじ(2本)を軽く締め、その後しっかりと締め付けて固定する。
- (3) 反対側も同様に固定する。



2 テレビ本体を取り付ける

- 取り付けは、必ず2人以上で行ってください。
- テレビ本体を包装箱から出して据置きスタンドに取り付けます。
- (1) テレビ本体の挿入口に止まる位置まで差し込む。
 - (2) 本体固定用ねじを使って、しっかりと固定する。



■ 取り外しかた

テレビ本体の包装箱に収納するときなどは、電源コードやアンテナ線、機器間の接続線、転倒・落下防止部品を外したあと、必ず「組み立てかた」の逆の手順で据置きスタンドを取り外してください。

お願い

- 取り外した部品類は、元に戻す場合に必要となりますので大切に保管してください。

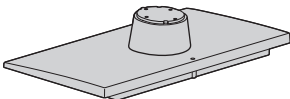
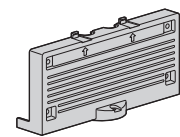
準備

据置きスタンドの取り付け

据置きスタンドの取り付け (つづき)

TH-32A1SSの場合

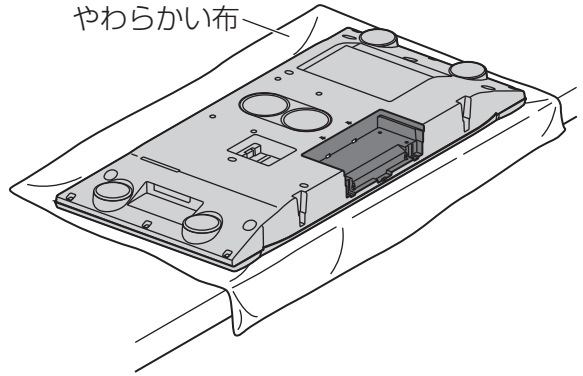
〈 〉は個数です。

☐ スタンド本体 …… 〈1〉  (品番:TBL5ZX08811)	☐ スタンドブラケット… 〈1〉  (品番:TBL5ZB33371)	組み立て用ねじ ☐ 本体固定用ねじ …… 〈4〉  (M4×25) (黒) (品番:XYN4+F25FJK) ☐ ブラケット固定用ねじ… 〈4〉  (黒) (品番:XTB4+18JFJK)
---	--	--

- 構成部品の品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。(サービスルート扱い)

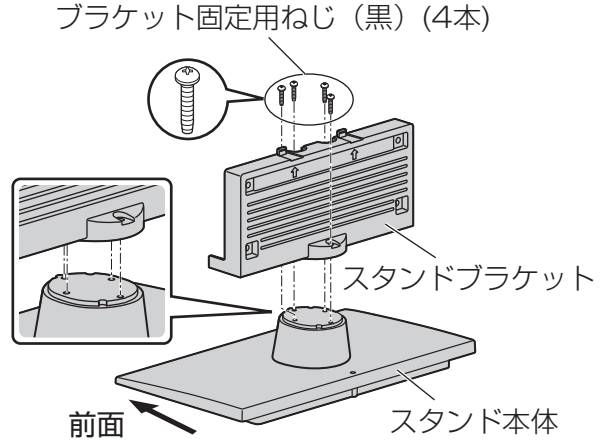
1 組み立てる準備をする

- (1) 据置きスタンドとテレビ本体を包装箱から出し、前面を下にして、汚れや異物がついていない、きれいなやわらかい布を敷いた机などの作業台の上に置く。
- 包装箱の前側を作業台に向けてテレビ本体などを取り出してください。
 - テレビ本体よりも大きいしっかりした作業台を使用してください。
 - テレビ本体を持つときは、液晶パネル部分を持たないでください。
 - テレビ本体のキズや破損に注意してください。



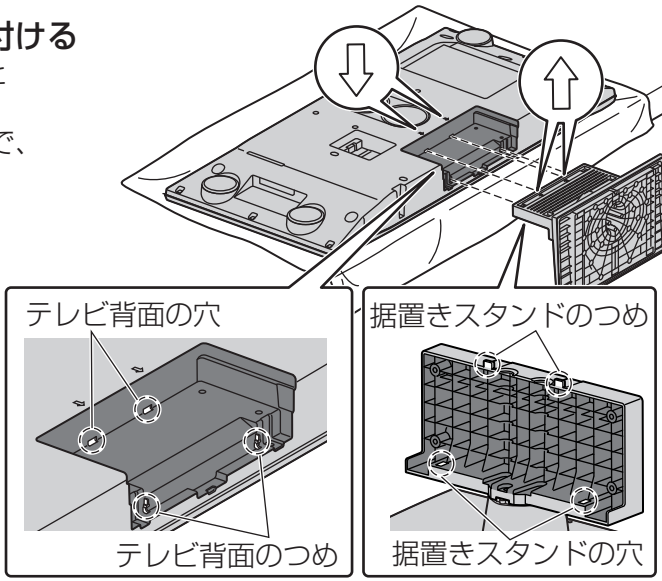
2 据置きスタンドを組み立てる

- (1) スタンド本体にスタンドブラケットをすき間なく取り付ける。
 - (2) ブラケット固定用ねじを使って、最初に4本のねじを軽く締め、その後しっかりと締め付ける。
- スタンドブラケットは倒れないように手で支えてねじで固定してください。

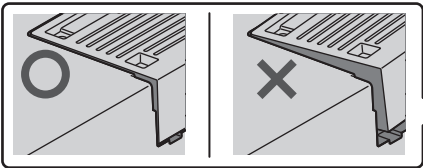


3 据置きスタンドをテレビに取り付ける

- (1) 矢印の刻印(⇓)(⇑)を目印に、穴とつめを合わせる。
- (2) 据置きスタンドが止まる位置まで、しっかり差し込む。



- テレビと据置きスタンドの間に、大きなすき間がないことを確認してください。



- (3) 本体固定用ねじを使って、最初に4本を軽く締め、水平になるように調整する。
- (4)しっかりとネジを締め付けてスタンドを固定する。

- テレビ本体を起こして設置してください。

■取り外しかた

テレビ本体の包装箱に収納するときなどは、電源コードやアンテナ線、機器間の接続線、転倒・落下防止部品を外したあと、必ず下記の手順通りに据置きスタンドを取り外してください。

- (1) テレビ本体は前面を下にして、やわらかい布などを敷いた机などの作業台の上に置く。
(☞ 14ページ手順1)
- (2) 本体固定用ねじ(黒)4本を外し、テレビ本体から据置きスタンドを取り外す。
- (3) ブラケット固定用ねじ(黒)4本を外し、スタンドブラケットを取り外す。

お願い

- 取り外した部品類は、元に戻す場合に必要となりますので大切に保管してください。

準備

据置きスタンドの取り付け

転倒・落下防止

地震の場合などに倒れるおそれがあります。安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。

- 本欄の内容は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。
- 付属品の転倒・落下防止部品、壁面への固定用部品の取り付け方法は、下記をご覧ください。
- テレビ台への固定と、壁面への固定の両方を行ってください。

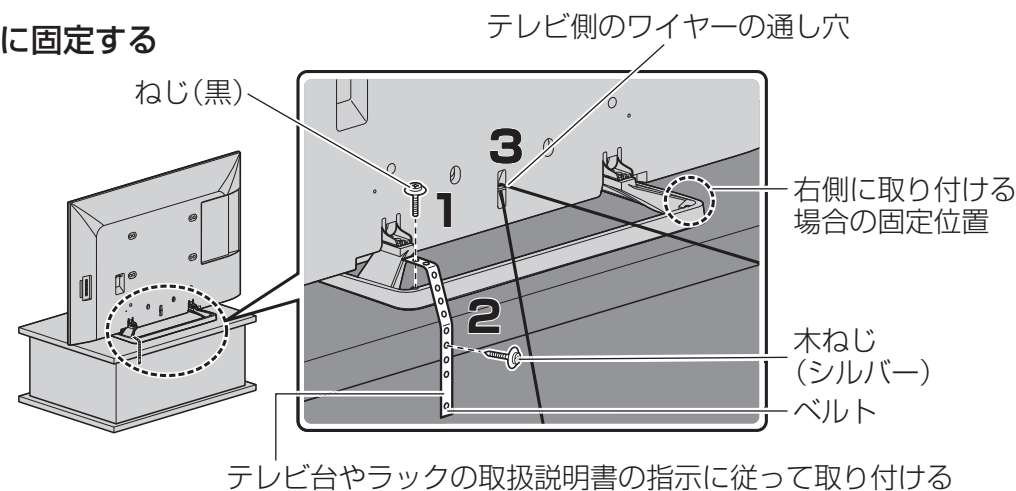
TH-50A1SSの場合

- 転倒・落下防止部品 …… 〈一式〉 (品番:TXFKL010D36A)
- ベルト …… 〈1〉 B-CASカードと同じ袋に入っています。
- ねじ(黒) …… 〈1〉 木ねじ(シルバー) …… 〈1〉

- 品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。(サービスルート扱い)

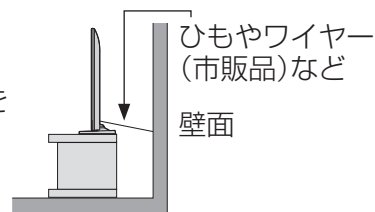
1 据置きスタンドにベルトを取り付ける(左右どちらでも取り付け可能)

2 テレビ台に固定する



3 壁面に固定する

テレビ側の通し穴に、丈夫なひもやワイヤー(市販品)などを通して固定する



お願い

- 壁面に固定する場合は、丈夫なひもやワイヤーなどの市販品を使用して、しっかりとした壁や柱に取り付けてください。

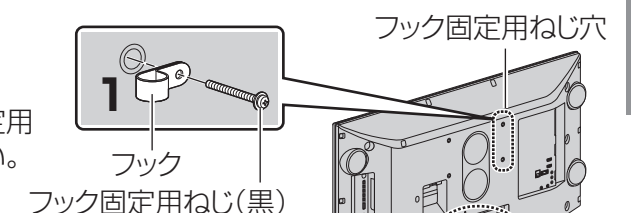
TH-32A1SSの場合

- 転倒・落下防止部品 …… 〈一式〉 (品番:TXFKL01BAVJ)
- ベルト …… 〈1〉 B-CASカードと同じ袋に入っています。
- ねじ(黒) …… 〈1〉 木ねじ(シルバー) …… 〈1〉
- フック …… 〈2〉 フック固定用ねじ(黒) …… 〈2〉

- 品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。(サービスルート扱い)

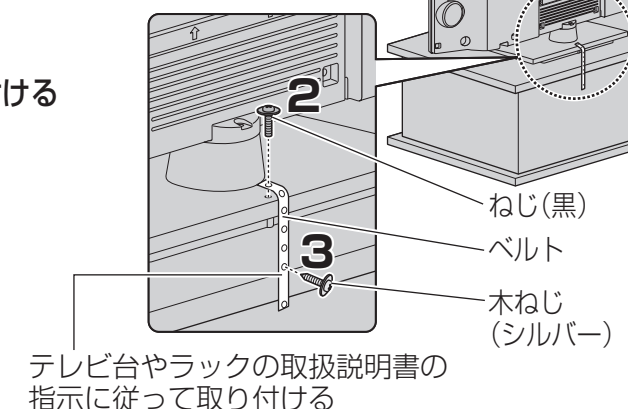
1 本体背面にフック固定用ねじでフック(2か所)を取り付ける

- フックは図で指示されているフック固定用ねじ穴以外には取り付けないでください。



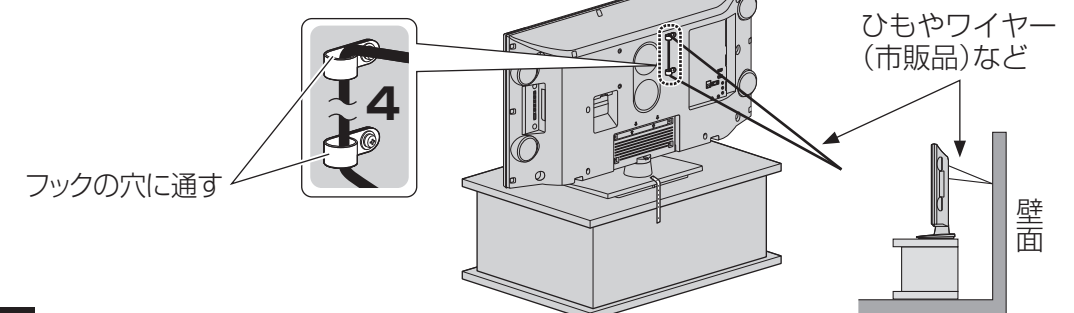
2 据置きスタンドにベルトを取り付ける

3 テレビ台に固定する



4 壁面に固定する

手順1で取り付けしたフック(2か所)に、丈夫なひもやワイヤー(市販品)などを通して固定する



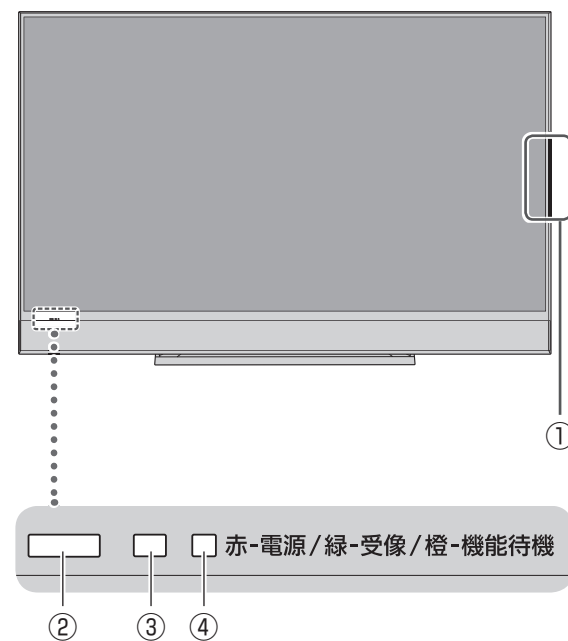
お願い

- 壁面に固定する場合は、丈夫なひもやワイヤーなどの市販品を使用して、しっかりとした壁や柱に取り付けてください。

各部のはたらき

本体(前面)

<TH-50A1SS>



①電源ボタン
(19ページ 背面)

②リモコン受信部

リモコンは、この部分へ向けて操作してください。

- リモコンの操作距離、操作範囲については(69ページ)

③明るさセンサー

- 「明るさオート」に対応して、映像を調節するための受光部

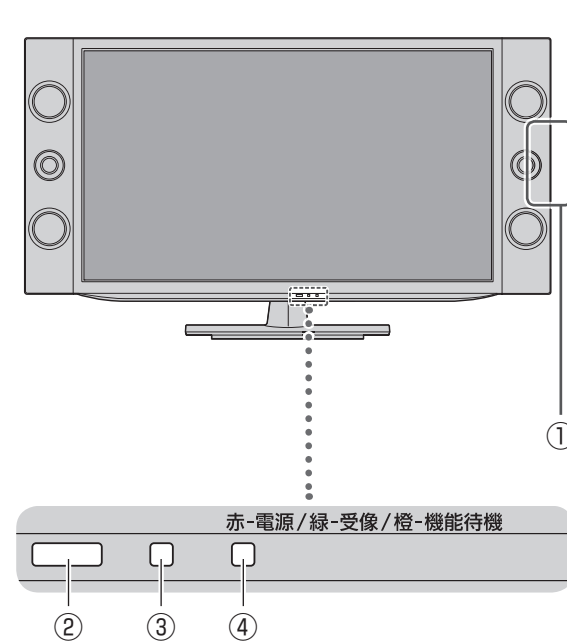
お願い

- 明るさセンサーやリモコン受信部の前にもものなどを置かないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- リモコン受信部に、直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。

お知らせ

- 電源ランプは点灯中にリモコンを操作すると点滅します。
- テレビ起動中は電源ランプが点滅します。
- 電源「切」時(電源ランプ赤色点灯時・消灯時)の場合も、一部の回路は通電しています。
- 本体とリモコンのリモコンモードが違っていると、リモコンの電源ボタンを押しても、電源ランプは点滅しますが電源の「入」「切」はできません。リモコンモードを変更してください。(67ページ)

<TH-32A1SS>

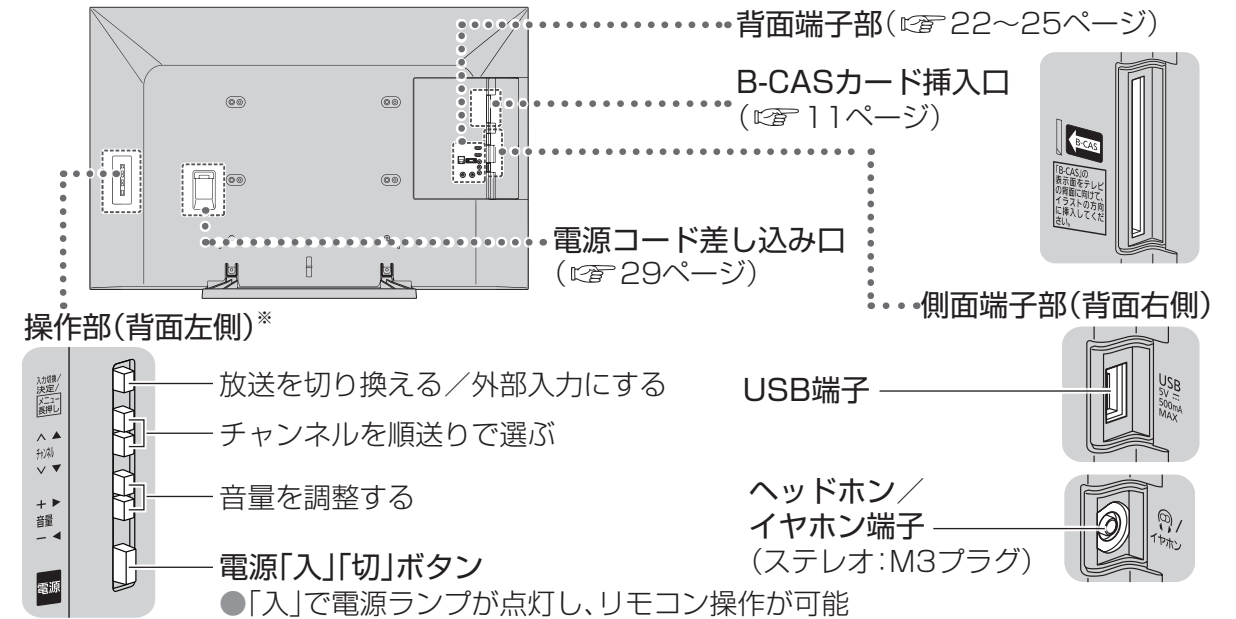


④電源ランプ

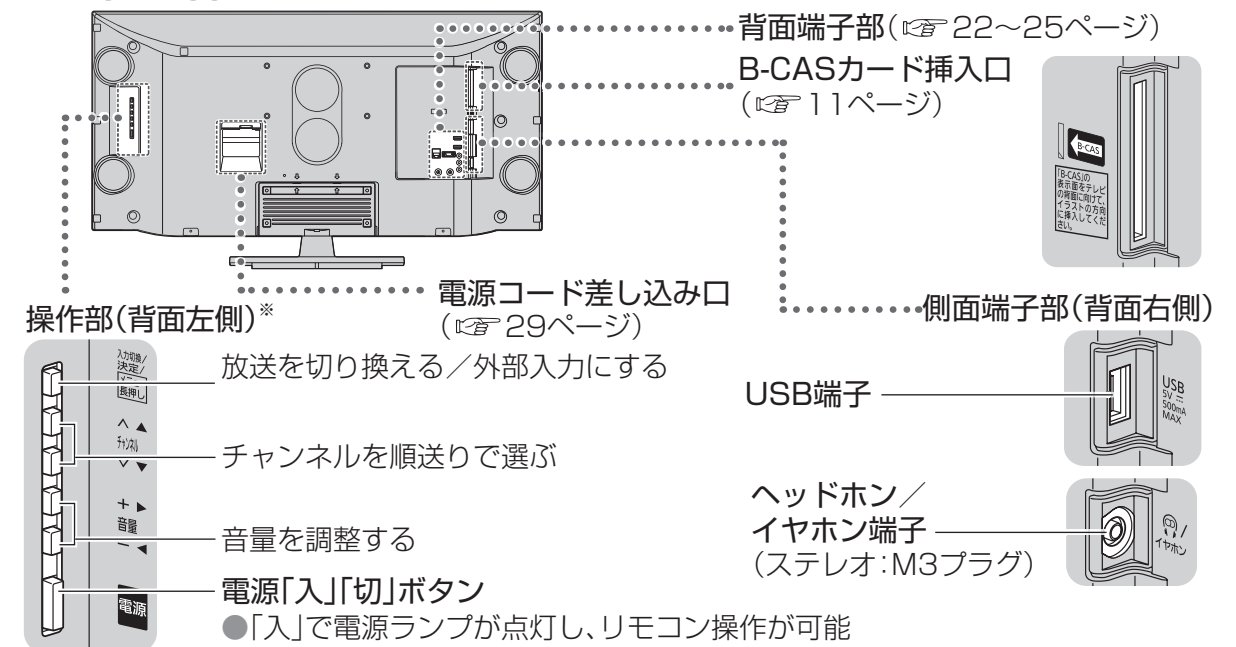
- 電源「入」時、緑色点灯
- リモコンで電源「切」時、赤色点灯
ただし、以下の場合は橙色点灯
 - ・オンタイマー設定中
 - ・録画時
 - ・USBハードディスクからディーガヘダビング中
 - ・予約時
 - ・電源オン連動「オン」設定中
 - ・クイックスタート「入」設定中、電源「切」にして24時間以内
- 本体で電源「切」時、消灯

本体(背面・側面)

<TH-50A1SS>



<TH-32A1SS>



※操作部のボタンを押すと、画面右端に操作ボタンのガイドが約3秒表示されます。(操作中のボタンが黄色で表示されます。)
また「入力切換」を長押しすると、メニュー画面が表示されます。
「チャンネル」ボタンと「音量」ボタンをカーソルキーとして使用できます。
(数字ボタンやカラーボタンには対応していないので、操作できない項目もあります。)

お知らせ

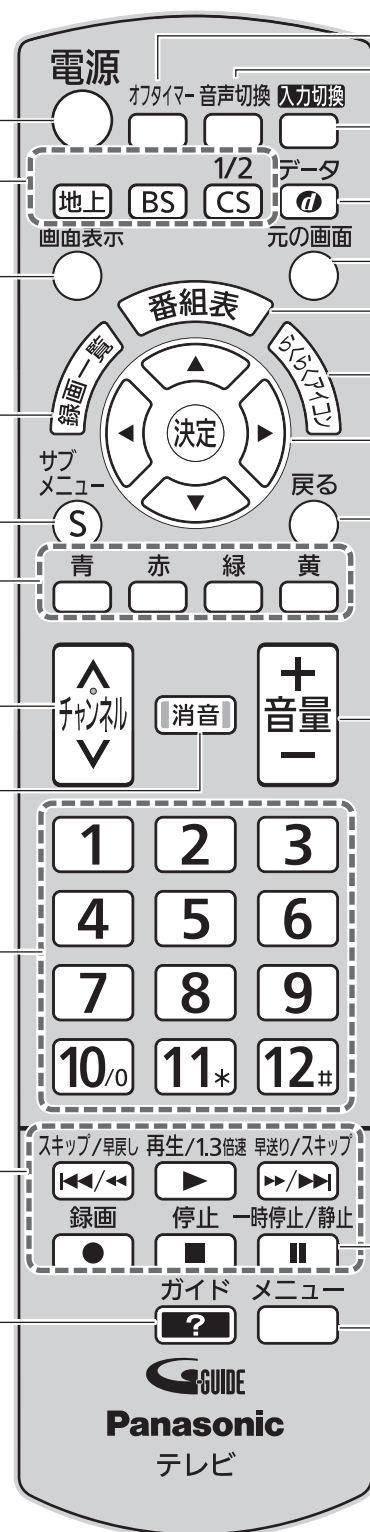
- ケーブルの先端部および機器の形によっては、背面や側面の端子に接続できないことがあります。

各部のはたらき (つづき)

リモコン

テレビ本体のリモコン受信部に向けて操作してください(18ページ)

- 本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する
- 放送を切り換える(放送切換ボタン)
 - ・ 前回選んだボタンを記憶しています。
 - ・ 見ない放送のボタンを使えないようにできます。(BS・CSのみ)
- 番組のタイトルなどを表示する
- 録画一覧を表示する
- サブメニューを表示する
- 画面に従って使う(カラーボタン)
- チャンネルを順送りで選ぶ
- 音を一時的に消す(もう一度押すと解除)
- チャンネルを直接選ぶ(40ページ) / 文字を入力する(58ページ)
- ディーガやUSBハードディスクなどの録画・再生機器を操作する(外部機器操作ボタン)
- ビエラ操作ガイドを見る(36ページ)



- 自動的に電源を切りたいときに設定する(押して時間を選ぶ)
- 2カ国語などを切り換える
- 外部入力に切り換える(ディーガ・DVDなど)
- データ放送を表示する
- テレビ画面に戻る
- 番組表*を見る
- らくらくアイコンを使う
- 画面上で選ぶ／決定する



〇〇を選び、「決定」を押す。
・ 本書では、選択/決定を上記のように記載しています。

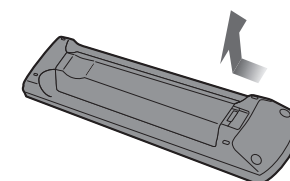
- 1つ前の画面に戻る
- 音量を調整する(画面下に音量を表示)

- 画面を静止する(テレビ視聴中に)
 - ・ もう一度押すと、放送中の画面に戻ります。
- メニュー画面を表示する(60ページ メニュー一覧他) / 音声ガイドを設定する(55ページ)

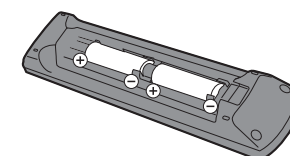
※本機の番組表はGガイドを使用しています。

リモコンに乾電池を入れる

①電池のふたを開ける。



②単3形乾電池(付属品)を
⊖側から入れ、電池のふたを
閉める。



お願い

- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 本機のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

お知らせ

- 本機の近くに別の当社製テレビがあるとき、リモコンの操作をすると別のテレビが反応してしまうことがあります。同時に動作することを防ぐには、本機の設定とリモコンのリモコンモードを切り換えてください。(67ページ)

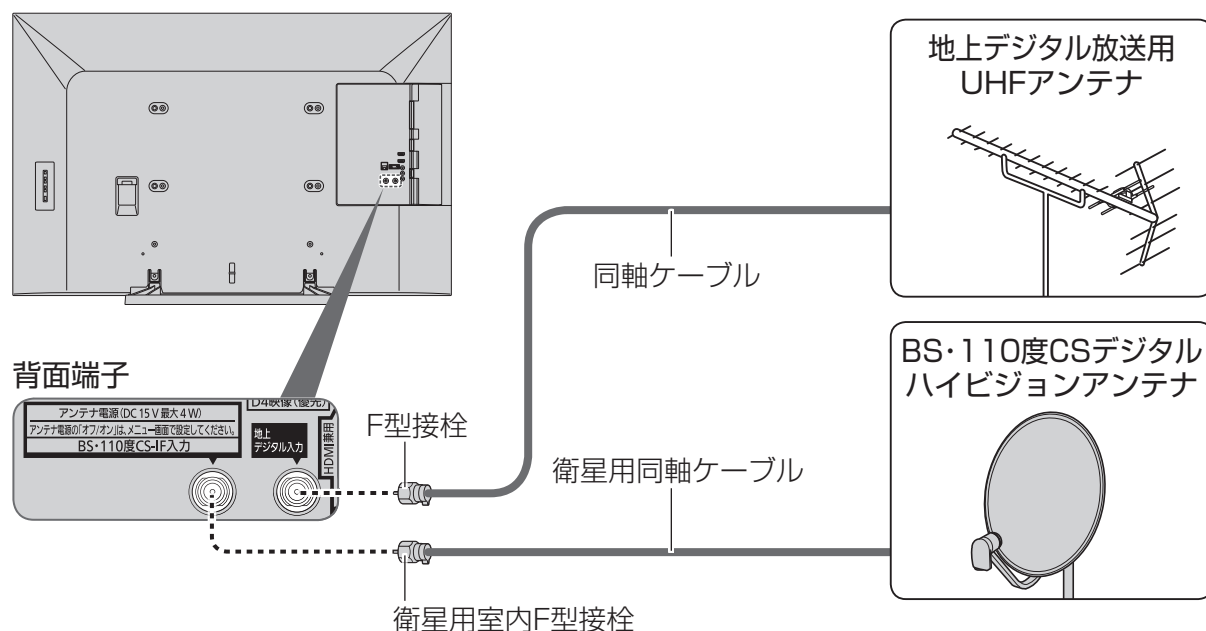
準備

各部のはたらき

アンテナ線の接続

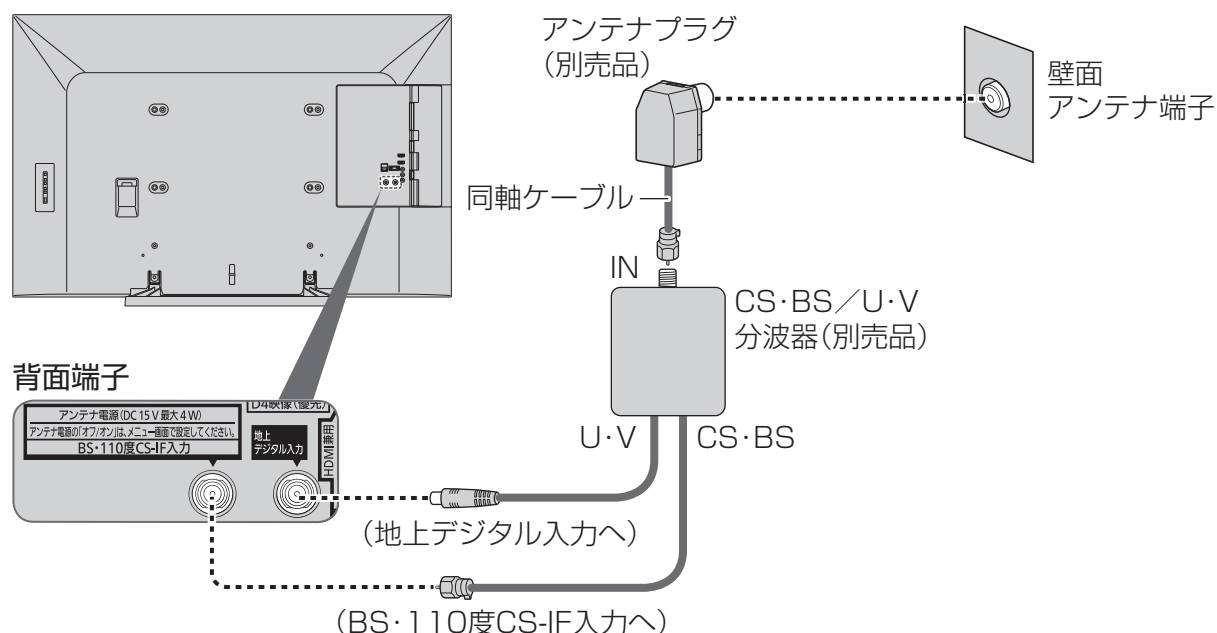
(接続完了後に電源プラグを差し込む。(P.29ページ))

一戸建てなど、個別のアンテナで受信する場合



- アンテナ電源を「オン」にし、調整してください。(P.35ページ)
- アンテナレベルを確認するときは(P.34、35ページ)

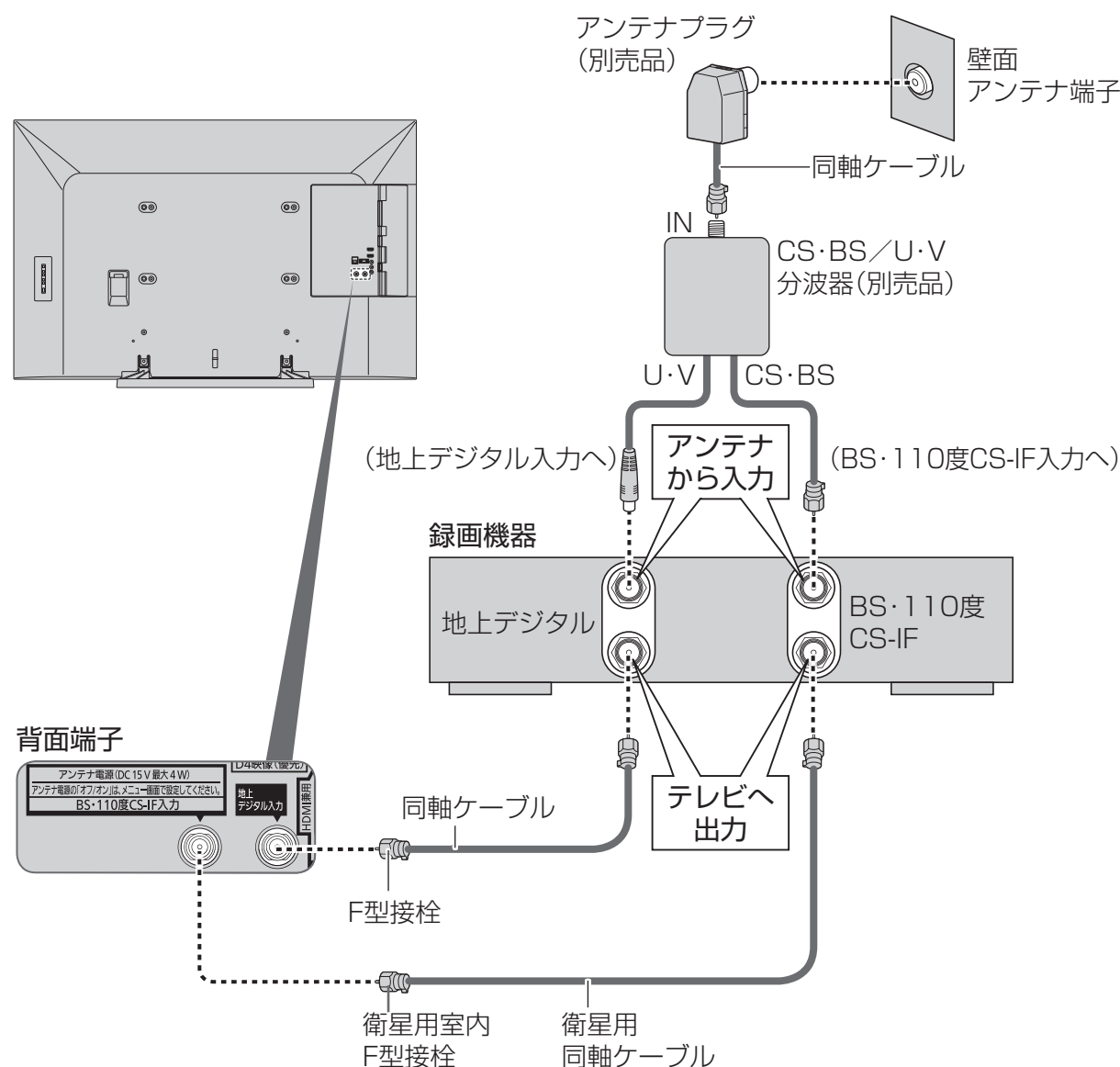
マンションなど、共同のアンテナで受信する場合



- アンテナ電源を「オフ」にしてください。(P.35ページ)

ディーガなどの録画機器を接続するときの一例

マンションなどの共同受信の場合に、地上デジタル、BS・CSチューナー内蔵の録画機器を接続するときの例です。詳しくは接続機器の取扱説明書でご確認ください。



お知らせ

- 同軸ケーブル、F型接栓などは市販品をご使用ください。
- 接続図は一般的な例であり、アンテナとの接続方法によって新たにご準備いただくもの(ケーブル・分配器・分波器・アンテナプラグなど)は変わります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 地上デジタル放送の電波が強すぎて映像が不安定になる場合は、アッテネーターを「オン」にしてください。(P.34ページ)

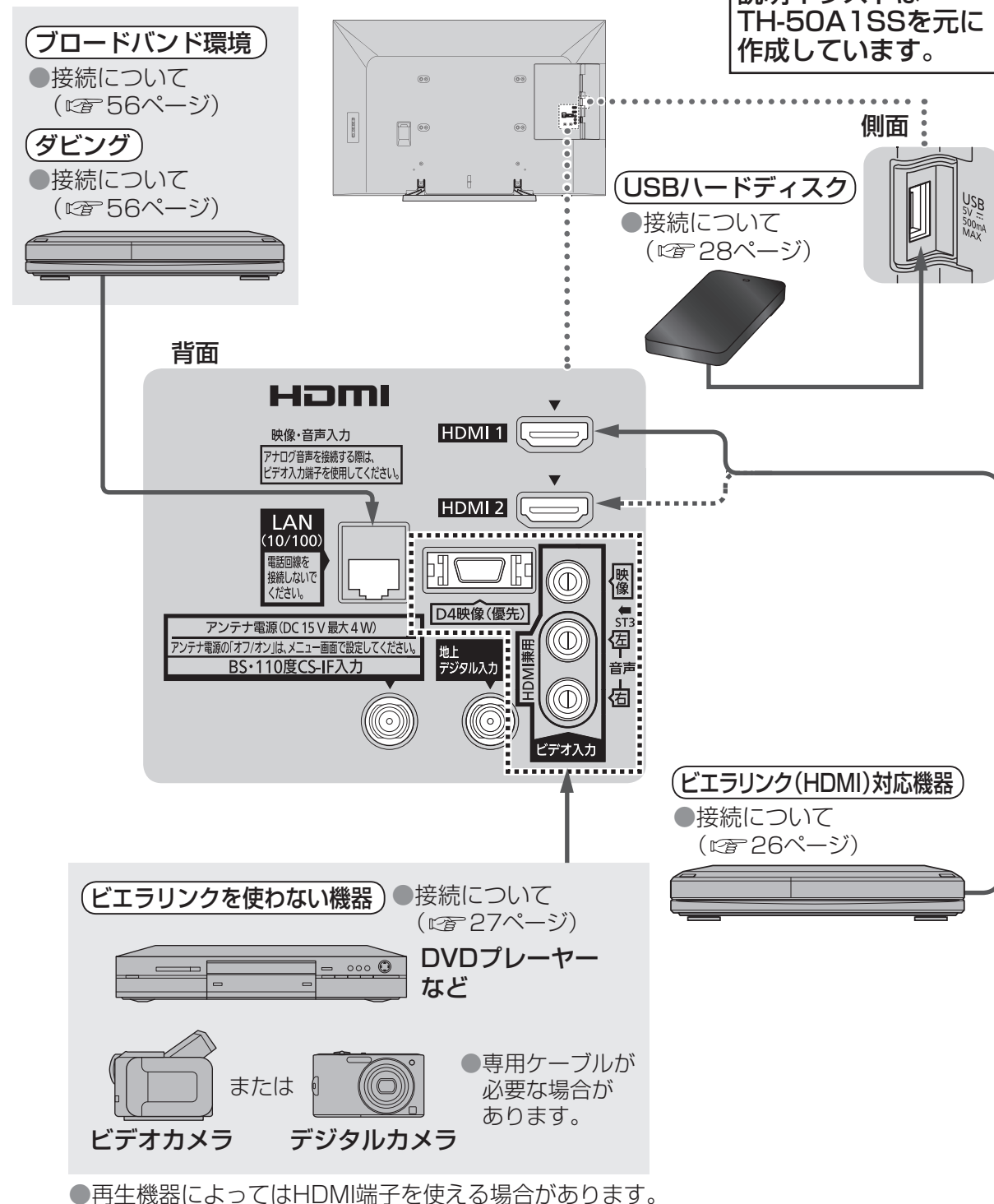
準備

接続・設定

アンテナ線の接続

いろいろな機器の接続

必要な機器を接続してください。



■USB端子について

- USBハードディスクなど、本機に対応する機器の接続用です。本機に対応していない機器を接続しないでください。
- USB端子に機器を接続したり、USB端子から機器を外すときは、本体の電源を「切」にしてから行ってください。
- 本機はスーパースピードUSB (USB3.0) には対応していません。

■HDMI端子について

HDMI端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェイスです。

- 対応している映像信号: 480i、480p、720p、1080i、1080p (24 Hz/25 Hz/30 Hz/59.94 Hz/60 Hz)
- 対応している音声信号: リニアPCM、サンプリング周波数 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz
- アナログ音声をお使いになる場合、HDMIとビデオ入力の音声入力端子に接続し、「HDMI音声入力設定」が必要です。

■ビデオ入力端子について

DVDプレーヤーなどの映像と音声の出力端子に接続します。

D4映像入力端子

- 映像入力端子よりも、色のにじみが少なく高画質に再生できます。
- DVDプレーヤーなどの「D1～D4映像」出力のいずれかの端子と接続してください。
- ビデオデッキなどの「Y、P_B、P_R」「Y、C_B、C_R」「Y、B-Y、R-Y」などの出力端子とはD端子ーピン映像コード (市販品) で接続できます。
- 対応している信号: 480i、480p、720p、1080i
- 「D4映像」入力端子と「映像」入力端子を両方接続すると、「D4映像」の画像が優先されます。
- 「D4映像」入力端子に接続するときは、ビデオ入力の音声入力端子にも同時に接続してください。

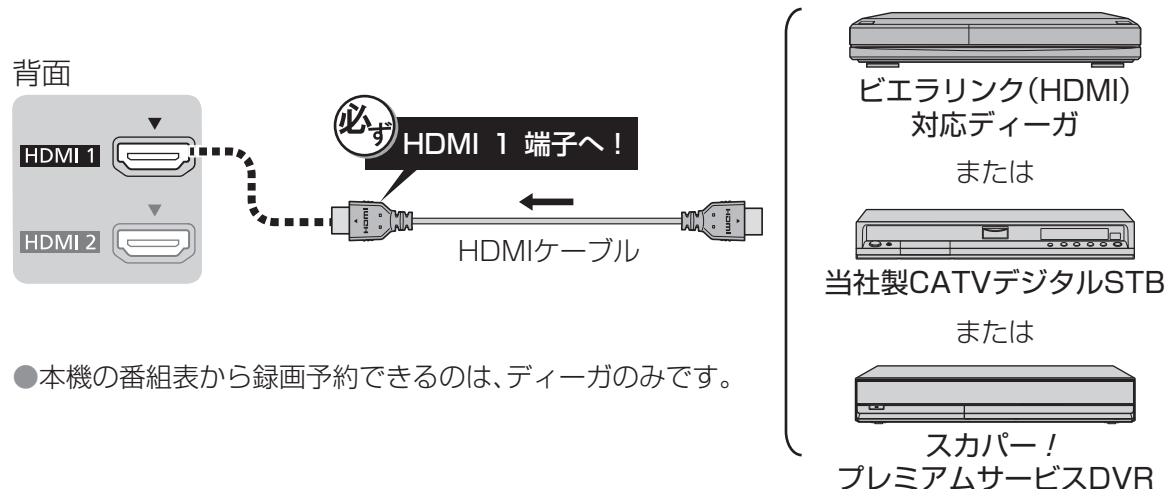
詳しくは: ? → 「いろいろな機能を設定する」
? → 「ネットワーク」
? → 「外部機器をつないで見る、聴く」

ビエラリンク(HDMI)対応機器の接続

ディーガなどの接続

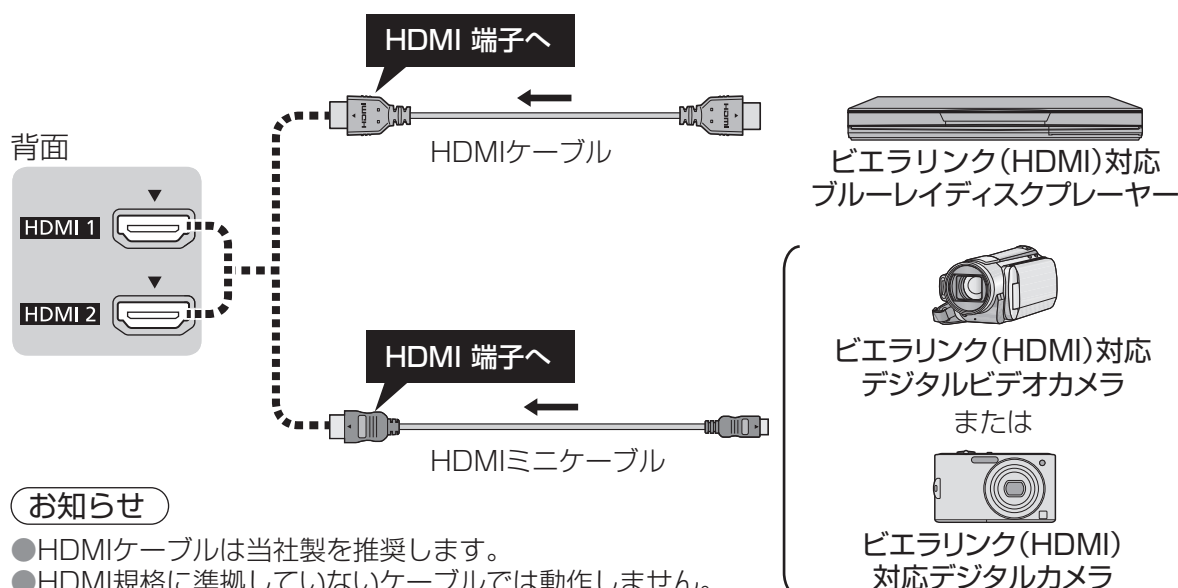
- ビエラリンク(HDMI)で録画に使う機器は、HDMI 1端子に接続してください。
- ビエラリンク(HDMI)で操作できるのは、各機器につき1台です。
同じ種類の機器を接続した場合、ビエラリンク(HDMI)で操作できるものは、番号の小さいHDMI端子に接続した機器のみです。

■ビエラリンク(HDMI)で録画に使う機器を接続する



- 本機の番組表から録画予約できるのは、ディーガのみです。

■ビエラリンク(HDMI)で再生のみできる機器を接続する



お知らせ

- HDMIケーブルは当社製を推奨します。
- HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

接続後の設定

- 「ビエラリンク(HDMI)設定」の「ビエラリンク」を「オン」に設定。**必須**([42ページ](#))
- 機器を操作したときに、連動して本機の電源を「入」にしたい場合は、「ビエラリンク(HDMI)設定」の「電源オン連動」を「オン」に設定。

ビエラリンクを使わない機器の接続

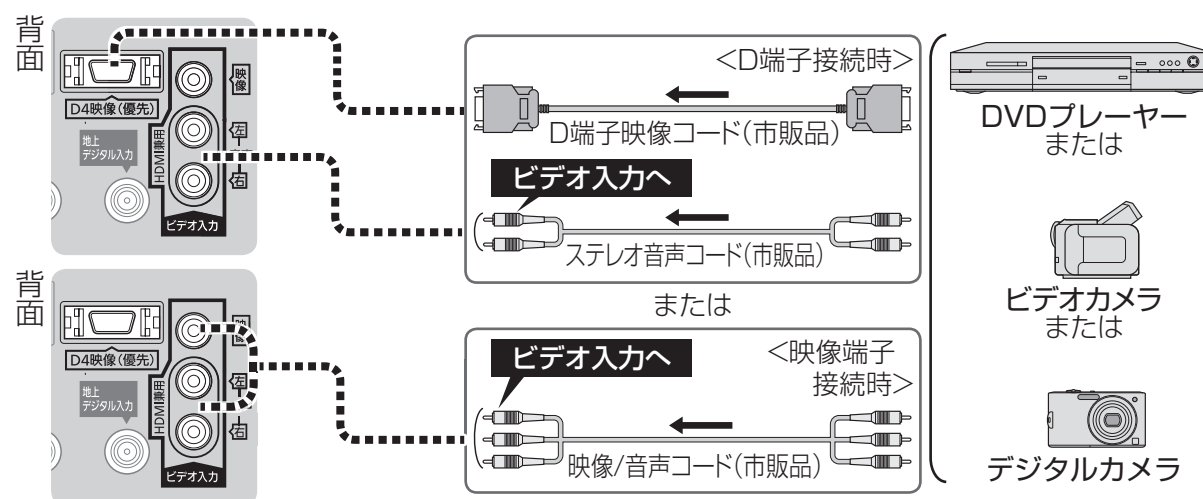
接続した機器の映像をお楽しみになるときは、「入力切換」ボタンで画面を切り換えてください。

再生機器(DVDプレーヤーなど)の接続

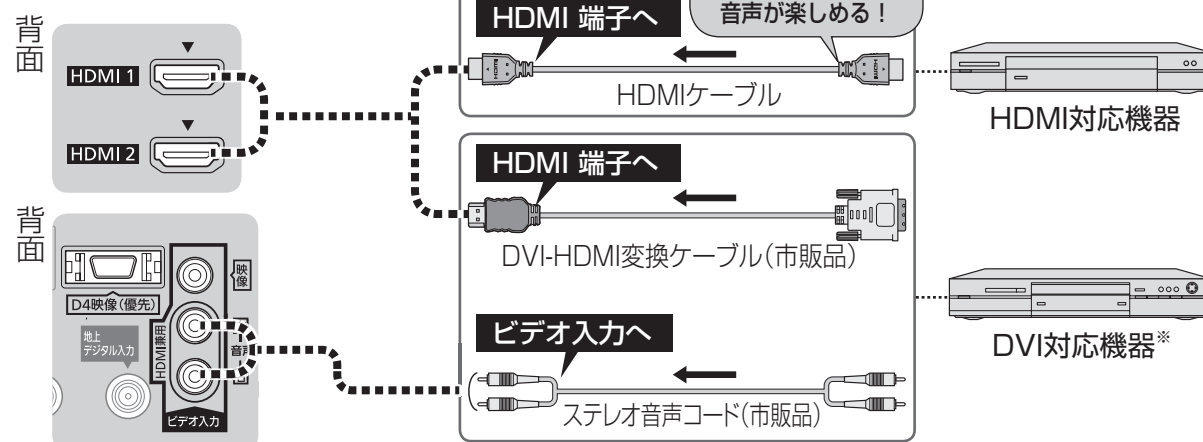
- ビデオ入力端子について([25ページ](#))
- HDMI端子について([25ページ](#))

■D端子またはビデオ端子に接続する

- 接続する機器によっては、専用ケーブルが必要な場合があります。



■HDMI端子に接続する



※DVI対応機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換ケーブル(市販品)を使い、ビデオ入力の音声入力端子にステレオ音声コードを接続し、「HDMI音声入力設定」を行ってください。

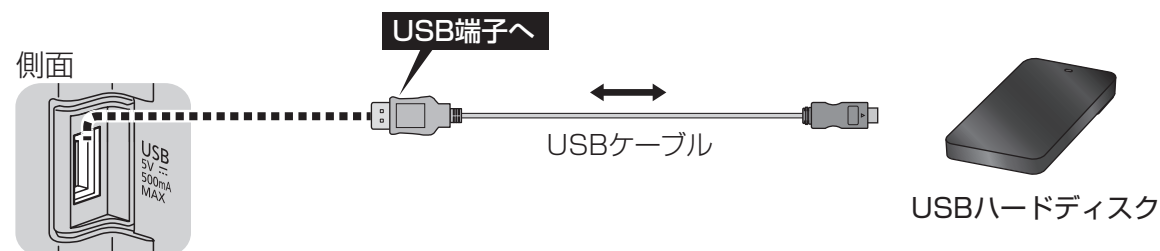
接続後の設定

- 入力切換ボタンで選ぶ端子名を、機器に合わせて変える、または「入力切換」ボタンで選ぶときスキップする(飛ばす)端子を設定するには、「ビデオ入力表示書換/スキップ設定」

USB機器の接続

USB機器の接続

- USB端子について(25ページ)
- USBハードディスクを使う(46ページ)



- 本機で動作確認済みのUSB機器の最新情報は
<http://panasonic.jp/support/tv/connect/index.html>
(2014年2月現在)

ケーブル・コード一覧(別売品)

接続する機器に合わせてご用意ください。

- HDMIケーブル

 RP-CHE30(3 m)など

- HDMIミニケーブル

 RP-CHEM20A(2 m)など

ケーブル・コード(別売品)は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でもお買い求めいただけます。

パナソニックグループのショッピングサイト

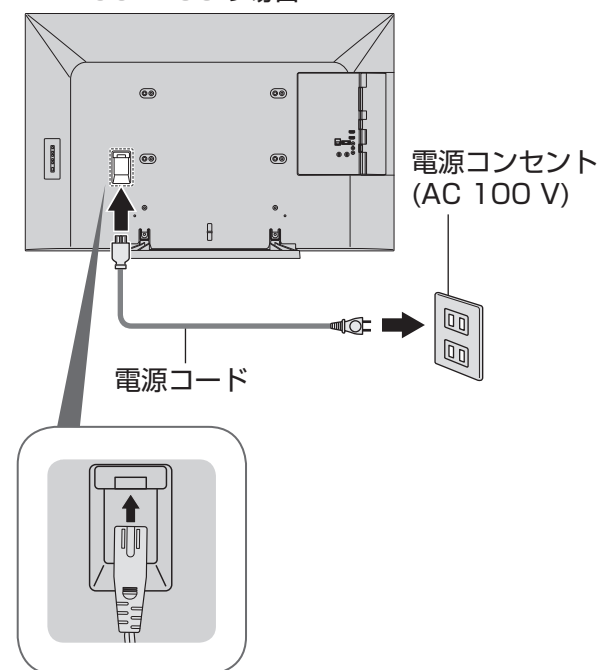
 **Panasonic Store**

<http://jp.store.panasonic.com/>

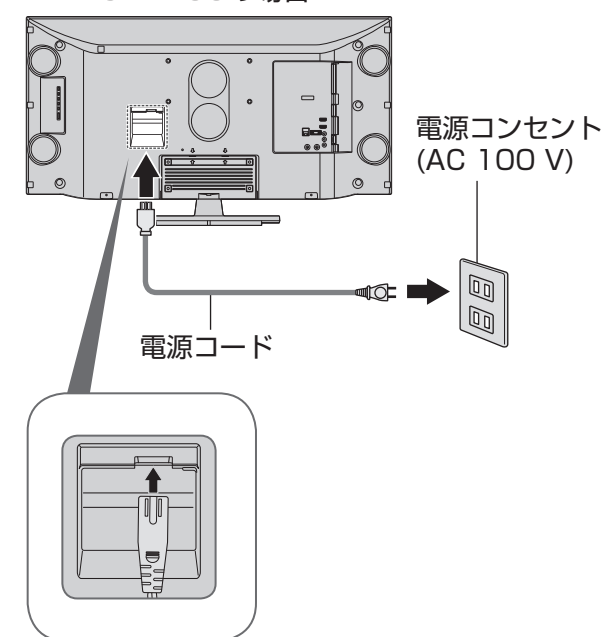
電源コードについて

電源コードは本機にアンテナや外部機器をすべて接続したあと、最後に差し込んでください。

<TH-50A1SSの場合>



<TH-32A1SSの場合>



お願い

- 電源コードは本体背面に奥までしっかり差し込んでください。
- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードセットは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

準備

接続・設定

USB機器の接続／ケーブル・コード一覧(別売品)／電源コードについて

かんたん設置設定

かんたん設置設定

ご購入後、接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、「かんたん設置設定」画面が表示されます。画面の表示内容に従って、リモコンを操作して設置設定を行ってください。また、引っ越しなどでテレビ放送の受信地区が変わったとき、受信状況が変わったときなどに必要な設定をやり直すことができます。

かんたん設置設定の内容

接続確認(お買い上げ後、最初の設定時にのみ表示されます)

↓

画面の表示内容に従って、LANケーブルの接続、アンテナ線の接続、B-CASカードの挿入を確認してください。

画質調整設定

↓

ご家庭用:映像モードを「スタンダード」に設定します。
店頭用 :映像モードを「ダイナミック」に設定します。
●設定後に変更する場合は、「映像モード」から変更できます。

ネットワーク接続設定

↓

ネットワークの接続設定を行います。
●設定後に変更する場合は、「ネットワーク接続」から変更できます。(P.57ページ)

郵便番号入力/県域設定/市外局番設定

↓

画面の表示内容に従って、お住まいの郵便番号、都道府県、市外局番を入力してください。
●設定後に変更する場合は、「地域設定」から変更できます。

B-CASカードテスト

↓

B-CASカードのテストを行います。
正しく終了すると、デジタル放送の設定ができます。
●設定後にテストする場合は、「B-CASカードテスト」からできます。

地上デジタル放送のチャンネル設定

↓

地上デジタル放送のチャンネル設定を行います。
●設定後に変更する場合は、「チャンネル設定」から変更できます。(P.32ページ)

衛星アンテナ電源設定

↓

衛星アンテナ電源の設定と、受信状態の確認を行います。
確認の結果によっては、アンテナ自体の調整や再設定が必要になることがあります。
●設定後に変更する場合は、「受信設定」から変更できます。(P.35ページ)

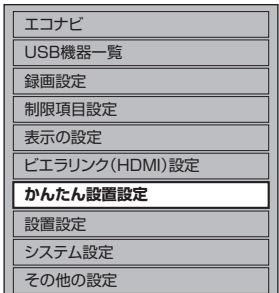
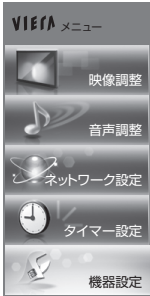
かんたん設置設定終了

↓

設定の結果を表示します。設置設定は終了です。

かんたん設置設定をやり直す

- 1
- メニューを押す
- 2
- 「機器設定」を選び、「決定」を押す
- 3
- 「かんたん設置設定」を選び、「決定」を押す
- 30ページ「かんたん設置設定」の画質調整画面に続きます。
- 4
- 画面の表示内容に従って操作する
- 上記の手順は、ネットワーク接続設定が表示されません。
別途「ネットワーク接続」から設定してください。(P.57ページ)



- お買い上げ時の状態からやり直すとき
- (1) 「かんたん設置設定」の市外局番入力で「0000」と入力し、「決定」を押す。
- (2) 本体の電源ボタンで「切」にし、再度「入」にする。

- お知らせ
- かんたん設置設定の内容は、メニュー画面から個別に変更することができます。
- 設定する必要がない項目は、画面の表示内容に従って次の項目に進むことができます。

設置設定を再設定する

●チャンネル設定は下記、受信設定は34ページをご覧ください。

チャンネル設定

かんたん設置設定でうまくできなかったときや、リモコンの数字ボタンへの割り当てなどを、お好みで変えたいときに行います。
衛星デジタル放送のチャンネルは工場出荷時に設定されていますが、お好みで変更できます。

地上デジタル放送(初期スキャン)

受信地域が変わったときや新しく地上デジタル放送を見たいときに、改めて自動でチャンネル設定します。

- 1

「機器設定」画面(31ページ手順3)で、「設置設定」を選び、「決定」を押す
- 2

「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す
- 3

「地上デジタル」を選び、「決定」を押す
- 4

「初期スキャン」を選び、「決定」を押す
- 5

「地域選択」を選び、「決定」を押す
- 6

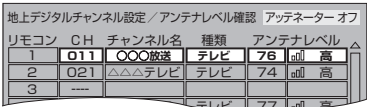
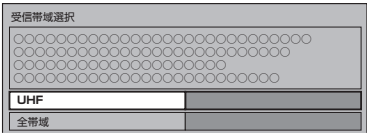
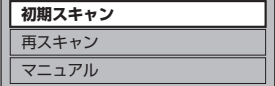
お住まいの地域を選び、「決定」を押す
- 7

「次へ」を選び、「決定」を押す
- 8

「UHF」または「全帯域」を選び、「決定」を押す
- 9

内容を確認する
- 10

戻るを押して終了する



お知らせ

●地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、以下のホームページでご覧になれます。(2014年2月現在)
<http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html> を開く。
テレビお客様サポートの「取扱説明書一覧」→『ご利用の条件』に「▶同意する」→品番選択の「TH-○○○○」→取扱説明書の「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ。

地上デジタル放送(再スキャン)

地上デジタル放送の受信状況が変わったときや新しい放送局が開局したときなどに、受信できる放送局を自動で追加します。

- 1

32ページ手順4で「再スキャン」を選び、「決定」を押す
- 2

画面の表示内容に従って操作する

(終わったら元の画面を押す)

地上デジタル放送(マニュアル)

地上デジタル放送のチャンネルをお好みで設定し直すことができます。

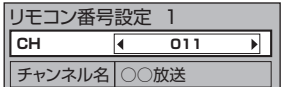
- 1

32ページ手順4で「マニュアル」を選び、「決定」を押す
- 2

修正したい行(リモコンの数字ボタン)を選び、「決定」を押す
- 3

「CH」のチャンネル番号を変える
- 4

戻るを押して終了する



- 行を入れ換えたいとき
- (1)

手順1の操作後、「緑」ボタンを押す。
- (2)

▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
- (3)

▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
- (4)

「戻る」を押す。

(終わったら元の画面を押す)

衛星デジタル放送

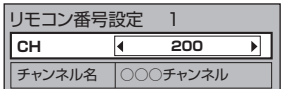
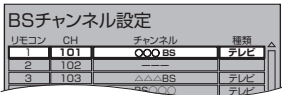
- 1

32ページ手順3で「BS」「CS1」「CS2」のいずれかを選び、「決定」を押す
- 2

修正したい行(リモコンの数字ボタン)を選び、「決定」を押す
- 3

「CH」のチャンネル番号を変える
- 4

戻るを押して終了する



- 行を入れ換えたいとき(上記「地上デジタル放送(マニュアル)」参照)
- (1)

手順1の操作後、「緑」ボタンを押す。
- (2)

▲▼で入れ換えたい行を選び、「決定」を押す。
- (3)

▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
- (4)

「戻る」を押す。

(終わったら元の画面を押す)

つづく

設置設定を再設定する (つづき)

受信設定(個別アンテナ使用時)

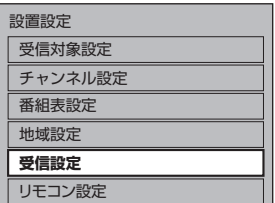
アンテナの向きを調整しながら、放送局ごとにアンテナレベル(受信する電波の質)を確認できます。

地上デジタル放送

アッテネーターを設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整します。

1 「機器設定」画面(31ページ手順3)で「設置設定」を選び、「決定」を押す

2 「受信設定」を選び、「決定」を押す



3 「地上」を選び、「決定」を押す



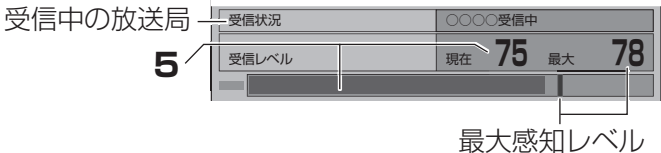
4 必要であれば「アッテネーター」を設定する

- 放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、「オン」に設定し、電波を弱めて安定させます。



5 アンテナレベルを確認する

- 現在のアンテナ入力レベルが表示されます。(受信の目安は44以上)



6 「物理チャンネル選択」を選び、「決定」を押す

7 物理チャンネルを選び、「決定」を押す

- 「全帯域」(32ページ手順8)を選ぶと、CATV経由の地上デジタル信号のレベルも表示できます。



8 アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

選択した物理チャンネルのアンテナレベルを表示

(終わったら元の画面を押す)

衛星デジタル放送

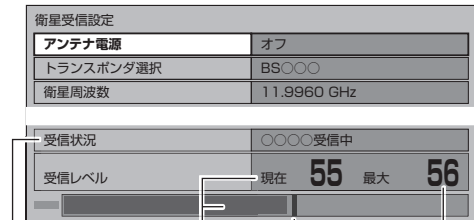
アンテナ電源の「オフ」「オン」を設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整します。

1 34ページ手順3で「衛星」を選び、「決定」を押す

2 「アンテナ電源」を選び、「決定」を押す

3 「オン」を選び、「決定」を押す

- 「オン」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。(ブースターなどからコンバーターへ電源を供給しているときは「オフ」にしてください)
- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変えると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がない限り、変えないでください。



4 アンテナレベルを確認後、アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

受信中のデジタル放送
現在のアンテナ入力レベル(受信の目安は50以上)

(終わったら元の画面を押す)

■ アンテナレベルについて

- アンテナレベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。
- アンテナのレベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。
- 現在受信中のデジタル放送のアンテナレベルは、「サブメニュー」を押して「アンテナレベル」を選んで確認できます。地上デジタル放送の場合は、さらに「決定」を押すと、受信状況の一覧を確認できます。
- BSや110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信中は「他の衛星受信中」と表示されます。再度、アンテナの向きを調整してください。

■ 物理チャンネルについて

- 地上デジタル放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

お知らせ

- アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。



詳しくは: [?] → 「いろいろな機能を設定する」 → 「地域やチャンネルなど設置に関する設定をする」

準備

接続・設定

設置設定を再設定する

ビエラ操作ガイドの使いかた

本機はビエラ操作ガイド(電子説明書)を内蔵しています。

- テレビ画面で本機の使いかたや解説を読むことができます。
- 本書では、電子説明書をビエラ操作ガイドと記載しています。

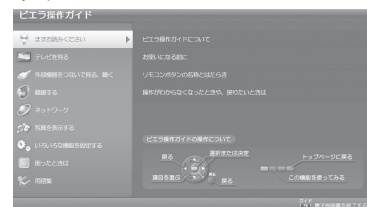
ビエラ操作ガイドを表示する

1 テレビを見ているときに **ガイド** を押す

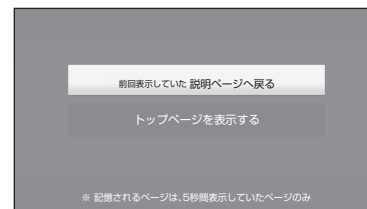
ビエラ操作ガイドのトップページを表示します。

- テレビ操作画面やビエラ操作ガイドの情報ページなどが表示されている場合は、**元の画面** を押して、テレビ画面に戻してから **ガイド** を押してください。

トップページ



- 前回表示した説明ページを表示するか、トップページを表示するかを選択画面が表示されることがあります。



- 「説明ページへ戻る」を選んで「決定」を押すと、前回表示した項目を表示します。
- 「トップページを表示する」を選んで「決定」を押すと、ビエラ操作ガイドのトップページを表示します。

2 **決定** で項目を選ぶ

■ビエラ操作ガイドを終了するには

ビエラ操作ガイドの画面で **ガイド** を押すと、テレビ画面に戻ります。



テレビ画面に戻る

一つ前の画面に戻る

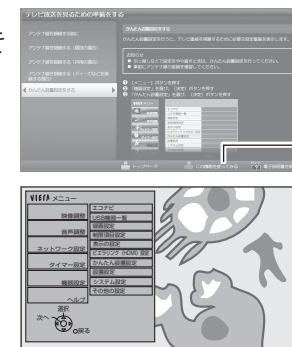
項目を選び、「決定」を押す

ビエラ操作ガイドの便利な機能

ビエラ操作ガイドの説明を読んだあと、実際に操作する

画面上に「この機能を使ってみる」が表示されたときは、実際の操作画面に切り換えることができます。

1 「この機能を使ってみる」が表示されたら、**赤** を押す



例:「テレビ放送を見るための準備をする」画面

実際の操作画面を表示

テレビの操作の途中で説明画面に切り換える

今の画面に関連した説明を表示します。(一部表示できない場合があります。)

1 操作中に **ガイド** を押す

2 「関連ページを表示する」を選び、「決定」を押す

3 今の画面に関連した説明を表示



例:番組表を表示しているとき

最後に表示したビエラ操作ガイドの項目を表示する

前回、最後に表示したビエラ操作ガイドの項目を表示することができます。

1 テレビ視聴中に **ガイド** を押す

2 「説明ページへ戻る」を選び、「決定」を押す



前回最後に表示した項目

- 最後にビエラ操作ガイドを表示してから約24時間が過ぎるか、トップページでビエラ操作ガイドを終了すると、次に **ガイド** を押したときにビエラ操作ガイドのトップページが表示されます。

エラーメッセージの詳しい説明を表示する

エラーメッセージに **?** が表示されているときに **ガイド** を押すと、エラーの説明が表示されます。

ビエラ操作ガイド項目一覧

代表的な項目を記載します。

まずお読みください

ビエラ操作ガイドを使うための操作を記載しています

- ビエラ操作ガイドについて
- お使いになる前に
- リモコンボタンの名称とはたらき
- 操作がわからなくなったときや、戻りたいときは

トップページ

ビエラ操作ガイド

まずお読みください

ビエラ操作ガイドについて

テレビを見る

お使いになる前に

外部機器をつないで見る、聴く

リモコンボタンの名称とはたらき

録画する

操作がわからなくなったときや、戻りたいときは

ネットワーク

写真を表示する

いろいろな機能を設定する

ビエラ操作ガイドの操作について

戻る

選択または決定

トップページに戻る

項目を選ぶ

戻る

この機能を使ってみる

ガイド 電子説明書を終了する

困ったときは

困ったときの解決法やよくあるお問い合わせを紹介しています

- 故障かな!?の前にご確認ください
- 表示されたメッセージについて確認する
- よくあるご質問(Q&A集)

用語集

本書やビエラ操作ガイドに出てくる用語の解説を記載しています

- テレビ本体やリモコン、外部機器に関する用語
- テレビ番組や放送に関する用語
- 画質や音質、画面表示など設定に関する用語
- テレビの機能や操作に関する用語
- ネットワークに関する用語
- その他の機能や操作に関する用語

テレビを見る

テレビを見たり、番組表を使ったりするための操作を記載しています

- テレビ放送を見るための準備をする
- テレビ放送を見る
- 番組表の使いかた
- テレビ放送の番組を探して見る
- 放送メールやB-CASカードなどの各種情報を見る

など

外部機器をつないで見る、聴く

USBハードディスクやディーガなどをつないで楽しむための操作を記載しています

- USBハードディスクやビエラリンク対応機器などを接続する
- USBハードディスクに録画した番組を再生・編集する
- 外部機器の入力切替をする
- ビエラリンク(HDMI)の設定をする
- ヘッドホンやイヤホンで聴く
- 接続した外部機器に関する設定をする

など

録画する

録画や録画予約のための操作を記載しています

- 見ている番組を録画する
- 録画予約をする
- 予約一覧画面から操作する
- 録画／予約の機能や動作について
- 番組録画中の画面表示について

ネットワーク

ネットワーク接続やダビングの操作を記載しています

- ネットワークに接続する
- ネットワークを利用するための接続設定をする
- USBハードディスクに録画した番組をダビングする
- インターネットを通じて、当社製機器の使いかたを見る

写真を表示する

写真をビエラで楽しむための操作を記載しています

- 写真を表示するための準備
- 写真を表示する

いろいろな機能を設定する

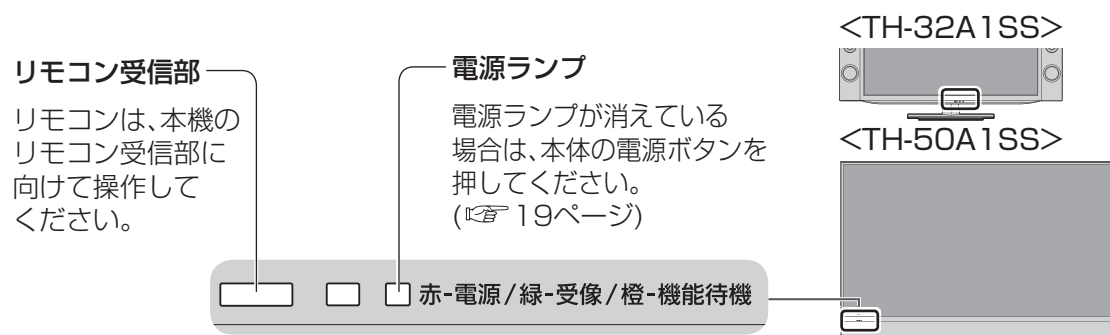
ビエラをより楽しむための設定操作を記載しています

- 画面に関する設定や画質を調整する
- テレビの節電機能(エコナビなど)を設定する
- 音声に関する設定や音質を調整する
- 字幕や表示などシステムに関する設定をする
- 制限項目や暗証番号に関する設定をする

など

テレビを見る

はじめてご使用になるときは画面に従って「かんたん設置設定」を行ってください。(☞ 30ページ)



ふだんは

リモコンで電源を「入」「切」する

1 放送の種類を選ぶ

放送切替ボタン

- 地上 地上デジタル放送
- BS 1/2 BSデジタル放送
- CS 110度CSデジタル放送
(スカパー！)

● 押すたびにCS1とCS2
が切り換わります

2 チャンネルを選ぶ

3 音量を調整する



番組表から番組を選んで見る

テレビを見る／番組表から番組を選んで見る

使
い
か
た

かんたん操作

(テレビを見ているときに)

番組表 **を押す**

放送の種類を選ぶ

地上 BS CS ^{1/2}



放送中の番組



[今すぐ見る](#)

**視聽
開始**

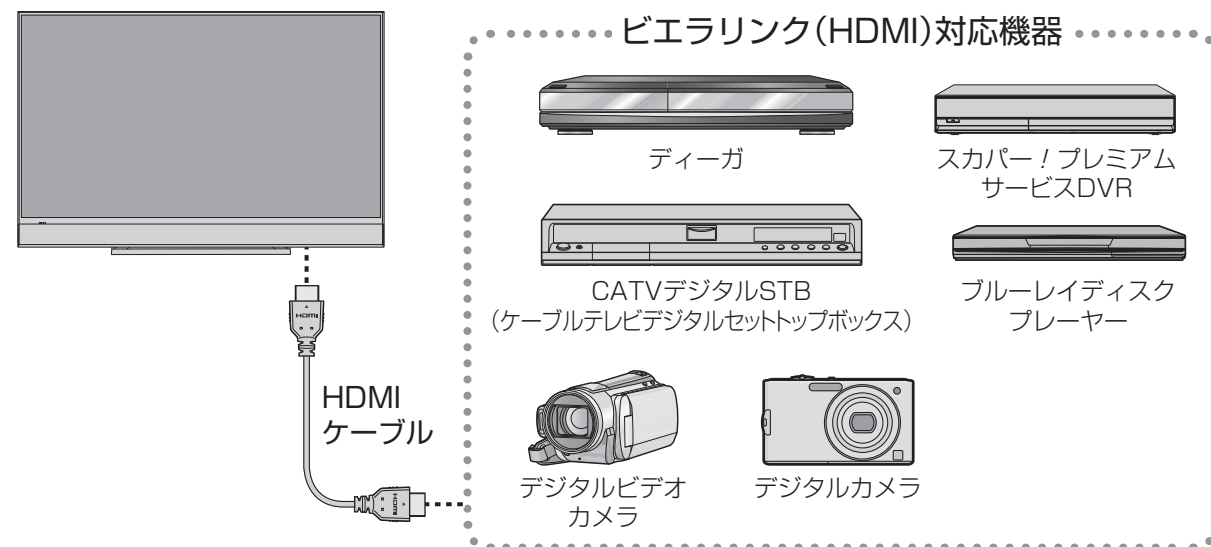
放送予定の番組を予約する場合

手順 ③ で、で放送予定の番組を選んだときは、

手順 ④ で **見るだけ予約** を設定できます。

ビエラリンク(HDMI)を使う

本機とビエラリンク(HDMI)対応機器(ディーガなど)をHDMIケーブル(別売品)で接続して、映像、音楽を楽しむことができます。



接続・設定

ビエラリンク(HDMI)対応機器を接続する (👉 26ページ)

ビエラリンク(HDMI)を有効にする (👉 下記 ビエラリンク(HDMI)設定)

(初めて接続したとき)

を押して、接続したHDMI端子に切り換える

ビエラリンク(HDMI)設定

必ずビエラリンク(HDMI)を有効にしてください。

- 1 を押す
- 2 「機器設定」を選び、「決定」を押す
- 3 「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、「決定」を押す
- 4 「ビエラリンク」を選び、「決定」を押す
- 5 「オン」を選び、「決定」を押す

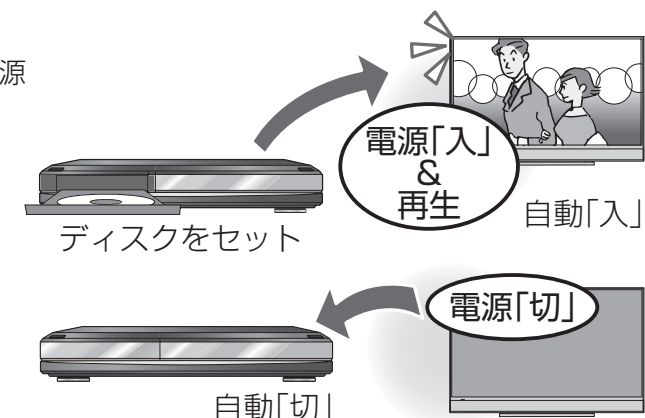
お好みで設定する

ビエラリンク(HDMI)設定	
ビエラリンク	オン
電源オン連動	オフ
電源オフ連動	オン
ECOスタンバイ	オフ
こまめにオフ	オフ
ケーブルテレビの電源オン連動	オフ
ディーガの操作	通常
テスト(ディーガ電源)	オフ

電源などの連動

接続機器の操作に連動して、本機の電源オン・オフなどが自動で行われます。

- ディスク再生(電源オン連動)
ディーガにディスクを入れると、本機の電源が自動で「入」になり、再生が始まります。
- 一斉電源「切」(電源オフ連動)
本機の電源を「切」にすると、接続している機器の電源も一斉に「切」になります。
- 待機電力を最小にする (ECOスタンバイ)
- 使っていない機器の電源を自動で「切」にする(こまめにオフ)
- 録画予約
本機の番組表で「ディーガ(ビエラリンク)」に録画予約すると、ディーガに録画予約情報が転送されます。

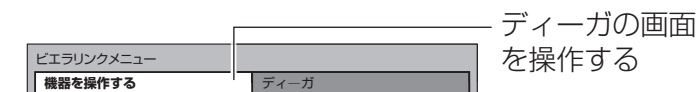


お知らせ

- ビエラリンクについてさらに知りたいときや困ったときは、ビエラ操作ガイドのトップページから「困ったときは」をご参照ください。
- 接続した機器を取り換えたり、接続・設定を変更したときなどは、本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。HDMIケーブルが正しく接続されていることを確認のうえ、下記の操作をしてください。
 - (1) すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の電源ボタンで電源を入れ直す
 - (2) を押して、接続・設定を変更したHDMI入力ごとに映像を確認する
 - (3) 本機のリモコンで機器を操作してみる

本機のリモコン1つで機器を操作

- 1 を押す
- 2 を選び、「決定」を押す
- 3 「機器を操作する」を選び、「決定」を押す
- 4 機器を選び、「決定」を押す



- 同じ種類のビエラリンク(HDMI)対応機器を複数接続した場合、ビエラリンク(HDMI)で操作できるものは、番号の小さいHDMI端子に接続した機器のみです。



詳しくは:  → 「外部機器をつないで見る、聴く」

- (テレビを見ているときに)
番組表 を押す
- 放送の種類を選ぶ**
地上 BS 1/2 CS
- で放送予定の番組を選び、
決定を押す
放送予定の番組
- で録画予約を選び、
決定を押す
録画予約
録画予約設定
録画機器 : ディーガ(ビエラリンク)
予約する
毎週予約する
「ディーガ(ビエラリンク)」
になっていることを確認
予約完了



を押す

でを選び、
決定を押す

で機器を操作するを選び、
決定を押す

ディーガを選び、決定を押す
(ディーガの操作画面を表示)

で録画番組を見るを選び、
決定を押す

再生したい番組を選び、
決定を押す

(接続しているディーガによっては、表示される項目が異なることがあります)

再生開始

録画を予約する／録画した番組を再生する

使いかた

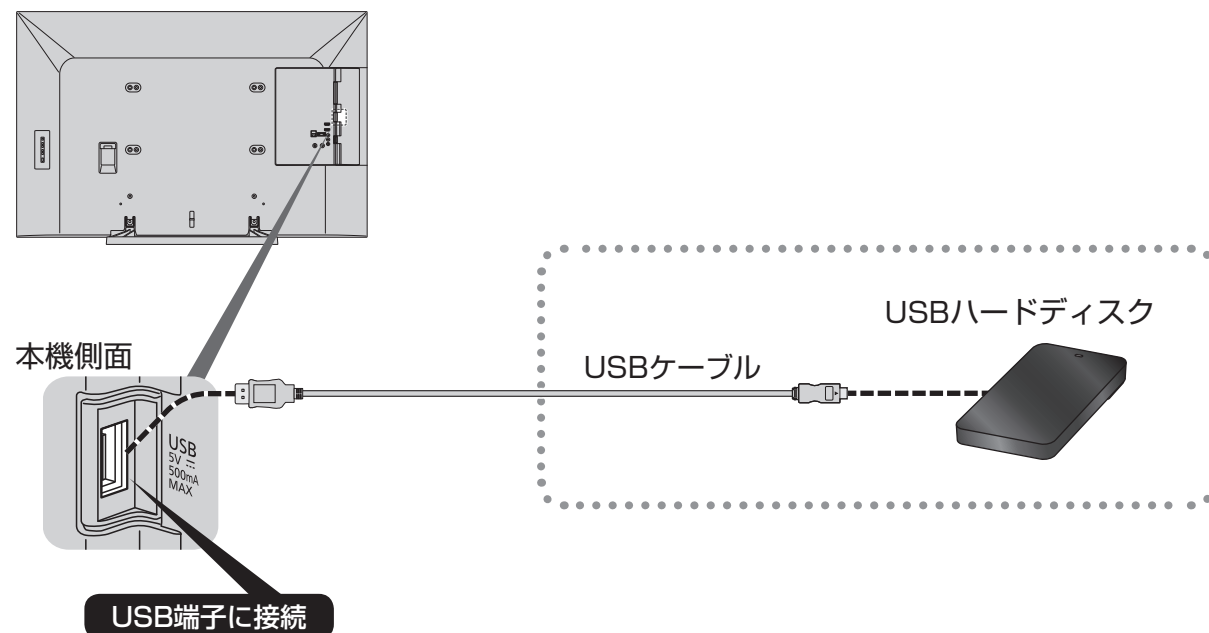
かんたん操作

USBハードディスクを使う

本機ではUSBハードディスクを使用して、下記のことができます。

- デジタル放送を録画・再生する(49～51ページ)
 - 録画した番組をネットワーク経由でディーガにダビングする(52ページ)
 - パソコンなどで保存した画像(写真)をテレビ画面で見る(54ページ)
- ファイルの種類によっては再生できない場合があります。

USBハードディスクの接続例



- 本機で動作確認済みのUSBハードディスクについては、以下のホームページで最新の情報を確認できます。(2014年2月現在)
<http://panasonic.jp/support/tv/> を開く。「動作確認情報」→『VIERA「液晶テレビ」』
→『「TH-○○○○」の接続検証』から、機器を選ぶ。

接続後の設定

初めてUSBハードディスクを接続したときは、録画用として登録・フォーマットの確認画面が出ます。録画用として使うときは、画面の表示内容に従って、登録・フォーマットしてください。(本機に登録できるUSBハードディスクは8台までです。)

録画用として登録しないときは、USBハードディスクに保存された画像(写真)を見ることができます。

■ USB機器一覧

本機に登録したUSBハードディスクの管理(登録の削除・取り外しなど)をしたいときは「USB機器一覧」から行ってください。

USBハードディスクの接続に関するご注意

- USBハブを使って複数のUSBハードディスクを同時に接続することはできません。(本機に登録できるUSBハードディスクは8台ですが、一度に使用できるUSBハードディスクは1台です。)
- USBハードディスクの動作中(再生・録画中など)に、本体の電源を切ったり、USBケーブルを抜いたり、振動や衝撃(移動、回転など)、静電気を与えると、録画した番組が消えたり、故障の原因となります。USBハードディスクの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 当社は他社起因によるところの操作と性能を保証しません。
また当社はそのような他社との組み合わせによってあるいは他社の操作や性能に起因するいかなる責任あるいは損害賠償をいたしかねます。

録画用として使うときは

本機でお使いいただくUSBハードディスクは本機専用として使用してください。本機専用で使用中のUSBハードディスクを他の機器で使用すると、再フォーマットが必要になり、録画した番組や保存したデータがすべて削除されます。

- 録画用として登録してご使用ください。
- 録画用として使用できるのは容量が160 GB以上のUSBハードディスクです。
- 録画できる最大番組数は3000番組です。
- 本機でUSBハードディスクに録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ(同じ品番のテレビを含む)やパソコンなどに接続して再生することはできません。

USBハードディスクの録画に関するご注意

- USBハードディスクを本機に接続して録画用として登録すると、本機専用のハードディスクとして初期化します。それまでUSBハードディスク内に保存していたデータはすべて消去されます。
- 登録を一度解除したUSBハードディスクを録画用として再使用する場合は、もう一度登録・フォーマットが必要です。録画していた番組はすべて消去されます。

画像(写真)を見るときは

- パソコンなどで記録したUSBハードディスクを再生するときは、録画用として登録しないで、そのままご使用ください。登録すると本機専用フォーマットされるため、保存されている画像(写真)などがすべて削除されます。
- 画像(写真)を再生するには(54ページ)



USBハードディスクを使う (つづき)

USBハードディスク使用上のご注意

- たばこの煙や殺虫剤の煙、ほこりなどがUSBハードディスクの内部に入ると、故障の原因となります。
- 何らかの不具合により、正常に録画ができなかった場合の内容の補償、録画した内容の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合においても同様です。あらかじめご了承ください。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

録画時間の目安について(連続録画の場合)

録画モード 容量	標準		
	地上デジタル HD放送 (≤ 17 Mbps)	BSデジタル HD放送 (≤ 24 Mbps)	BSデジタル SD放送 (≤ 12 Mbps)
500 GB	約60時間	約43時間	約86時間
1 TB	約121時間	約86時間	約172時間
2 TB	約242時間	約172時間	約344時間

- 「標準」の録画時間は、放送の転送レートによって異なります。
- 録画可能時間は理論値によって計算しているため、実際と異なる場合があります。
- 動作確認済み機種について詳しくは、<http://panasonic.jp/support/tv/index.html> をご覧ください。

USBハードディスクに 見ている番組を録画する

本機ではUSBハードディスクを使ってデジタル放送番組の録画ができます。

1 (テレビを見ているときに)

録画 **を押す**

●見ている番組の録画が始まります。

録画開始

2 **録画を停止するには**

停止 **を押す**

録画停止の確認画面で **はい** **を選び、**

決定 **を押す**

●停止を押さない場合は「録画ボタン設定」で設定した時間(「番組終了」または「3時間録画」)に自動的に停止します。

録画停止



- 残量に余裕がある状態で録画してください。
- デジタル放送のテレビサービス以外は録画できません。



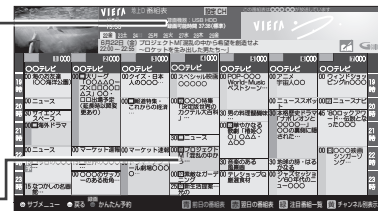
(テレビを見ているときに)

1 **番組表** を押す

2 放送の種類を選ぶ **地上** **BS** **CS**

3 **決定** で番組を選ぶ

使用中の録画機器
選択中の番組



4 **録画** を押す

予 が表示されます

●もう一度 **録画** を押すと録画予約が解除されます。

●電源を切る場合は、必ずリモコンの電源ボタンで操作してください。
本体で電源を切ると録画できなくなります。

予約完了

実行中の録画を途中で停止するとき

1 **停止** を押す

2 録画停止の確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

お知らせ

- 録画中、本体で電源を切ったりUSBハードディスクを取り外すと、録画中の番組は保存されません。
- 予約した時間に設定したUSBハードディスクが取り外されていると、録画を開始できません。(録画予約した番組の放送中にUSBハードディスクを接続しても、録画は開始しません。)
- USBハードディスクの使用状況によっては、録画や再生が正常に行われないことがあります。

■ USBハードディスク使用中に本体で電源を切るときは

- (1) リモコンの **停止** を押して録画や再生を停止する
- (2) 本体の電源を切る

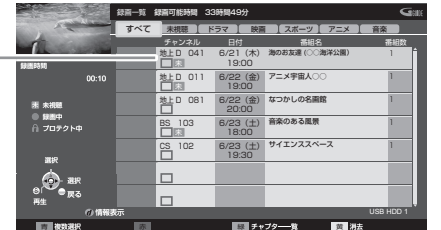


(テレビを見ているときに)

1 **録画一覧** を押す

2 **決定** で番組を選び、**決定** または **再生/1.3倍速** を押す

選択されている
番組



録画一覧画面

再生開始

再生中の操作

- 停止** 再生を停止する
- 一時停止/静止** 再生を一時停止/再開する
- スキップ/早戻し** 押した回数だけチャプターマークのある場面に飛び越す
(前番組/次番組へは飛び越しません)
- 早送り/早送り** 再生中に約1秒間押すと、早戻し/早送りする
● 押したままにすると、速度が速くなります。(5段階)
(通常の再生に戻すには **再生/1.3倍速** を押す)

■ 録画番組の消去

残量が不足したときに不要な番組を選んで消去します。

- (1) 消去したい録画番組を選び、**黄** を押す
- (2) 番組消去の確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

■ 録画番組のプロテクト

誤消去を防ぐために、録画番組にプロテクト設定できます。プロテクト設定中の番組は消去できません。(フォーマットした場合は、プロテクト設定していても消去されます。)

- (1) プロテクト設定したい録画番組を選ぶ
- (2) **サブメニュー** を押し、「プロテクト設定変更」を選び、「決定」を押す



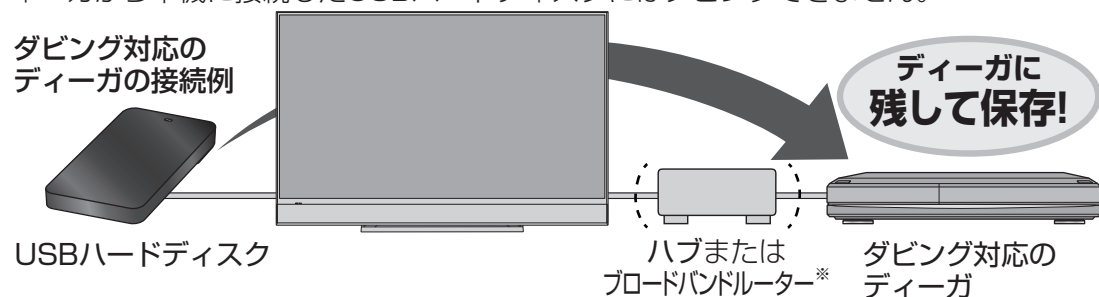
詳しくは：**?** → 「外部機器をつないで見る、聴く」 → 「USBハードディスクに録画した番組を再生・編集する」



ダビングする (USBハードディスク → ディーガ)

USBハードディスクに録画した番組をハブやブロードバンドルーターを経由して、ダビング対応のディーガのハードディスクにダビングできます。

●ディーガから本機に接続したUSBハードディスクにはダビングできません。



※ダビング対応のディーガをハブやブロードバンドルーターを使わずに本機に直接接続する場合は、LANクロスケーブルのご使用をおすすめします。

接続・設定

本機にUSBハードディスクと、ダビング対応のディーガを接続します。

USBハードディスク(ダビング元)を接続する (👉 28、46ページ)

ディーガ(ダビング先)を接続する (👉 56ページ)

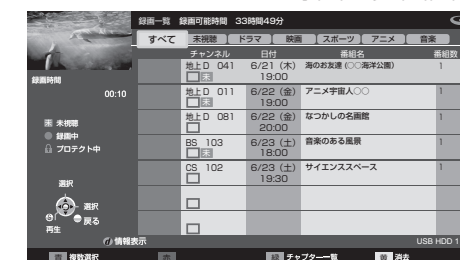
ネットワーク接続の設定をする (👉 57ページ)

- ダビング先のディーガの設定も必要な場合があります。
詳しくは、ディーガの取扱説明書をご覧ください。
- ネットワーク接続は、インターネットへの接続、ネットワーク機器などの設定を行うことができます。機器をすべて接続したあとに、画面の表示内容に従って設定を行ってください。
- ダビングに対応するディーガについては、以下のホームページで最新の情報を確認できます。
<http://panasonic.jp/support/bd/> を開く。
「動作確認情報」→ディーガの各機種内の「DLNAダビング動作確認機器一覧表」
(2014年2月現在)

ダビングの操作手順

- 1 を押す
録画一覧画面が表示されます。
- 2 ダビングしたい番組を選ぶ
- 3 サブメニュー (S) を押す
- 4 「ダビング」を選び、「決定」を押す
- 5 「ダビング機器」を選ぶ
- 6 ダビング先のディーガを選ぶ
- 7 ダビングの内容を確認したあと、「ダビング開始」を選び、「決定」を押す
初めてダビングするときは、確認画面が表示されます。
2回目以降は、自動的にダビングが始まります。

USBハードディスク録画一覧画面



ダビングする

使いかた

■ダビングを中止するとき

- (1) 本機でテレビ放送視聴中に を押す
- (2) ダビング中止の確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

■初めてダビングするとき (ディーガを本機に登録する必要があります。)

- 手順7のあと確認画面が表示されたら、「はい」を選び、「決定」を押す
- 一度登録すると、次回からは表示されません。
 - 登録に失敗したときは、ディーガの設定やネットワークの接続を確認してください。

お知らせ

- ダビング中は、本体の電源ボタンで電源を切らないでください。
- 録画とダビングは同時にできません。
- 複数の番組を選んでダビングすることはできません。
- ダビング(コピー)の制限について
本機はダビング10に対応しています。
USBハードディスクに録画したデジタル放送をディーガにダビングした場合、番組に加えられたコピー制御信号によって、ダビングの残り回数が減っていきます。
- ディーガの操作方法については、ディーガの取扱説明書をご覧ください。

詳しくは: → 「ネットワーク」→ 「USBハードディスクに録画した番組をダビングする」

再生する (USBハードディスク)

画像(写真)の再生や管理

- 1 を押す
- 2 を選び、「決定」を押す

らくらくアイコン



例: 写真一覧



リモコンのカラーボタンで操作

- 青  スライドショー
- 赤  表示切替
- 緑  USB機器選択

■ シングル再生 画像(写真)

再生したい画像(写真)を選び、「決定」を押す

■ スライドショー再生 画像(写真)

- (1) を押す
- (2) 「スライドショー開始」を選び、「決定」を押す

お知らせ

- USBハードディスクを使用中に本体の電源を切ると、故障の原因となります。
電源を切る場合は、50ページの手順に従って操作してください。

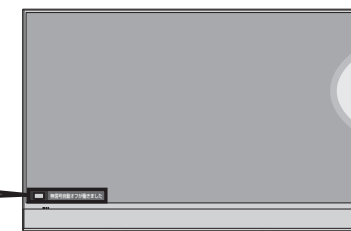
エコナビ・音声ガイド

エコナビ

視聴環境や使用環境に応じて、本機が自動的に本機および周辺機器を制御して、消費電力を低減します。

エコナビ表示例

無信号自動オフが働きました



テレビが自動で
消費電力を低減!

■ エコナビ設定時の省エネ効果について

「おすすめ設定」時は、標準の設定時に対して、約5パーセント消費電力を削減します。
(視聴環境、使用条件により、効果は異なります。)

<測定条件>

- ・映像モード: スタANDARD(標準) ・照度: 250ルクス ・カラーバー信号受像
- ・本機の電源を入れて1時間30分後、安定させた状態での消費電力で比較

音声ガイド

番組表の内容や予約設定、録画一覧、選局時、「入力切替」ボタンを押したときの切り換え先などを読み上げます。

- 音声ガイドをもう一度お聞きになりたい場合は、リモコンの「画面表示」ボタンを押してください。
- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

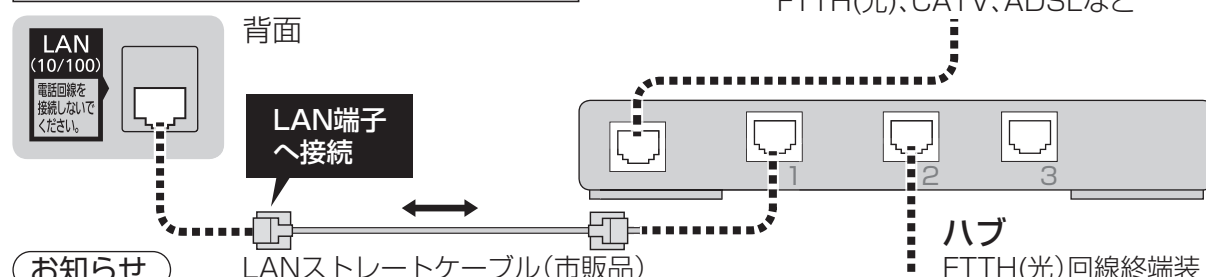
■ 音声ガイドは、を3秒以上押して、表示された画面で項目を選び、設定する。

ブロードバンド環境への接続・設定

本機をブロードバンド環境に接続すると、最新の内蔵ソフトウェアをインターネット経由で入手して更新したり、当社製接続機器の使いかたを調べたりすることができます。

- ブロードバンド環境への接続は、プロバイダーや回線業者との契約内容に基づいて接続してください。(回線の種類は下記参照)
- ダビング時の接続については、ディーガの取扱説明書もあわせてご覧ください。

LANストレートケーブルでの接続

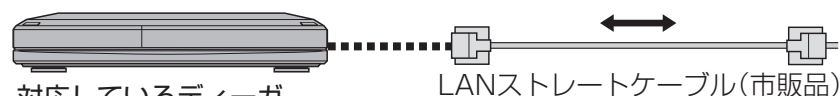


お知らせ

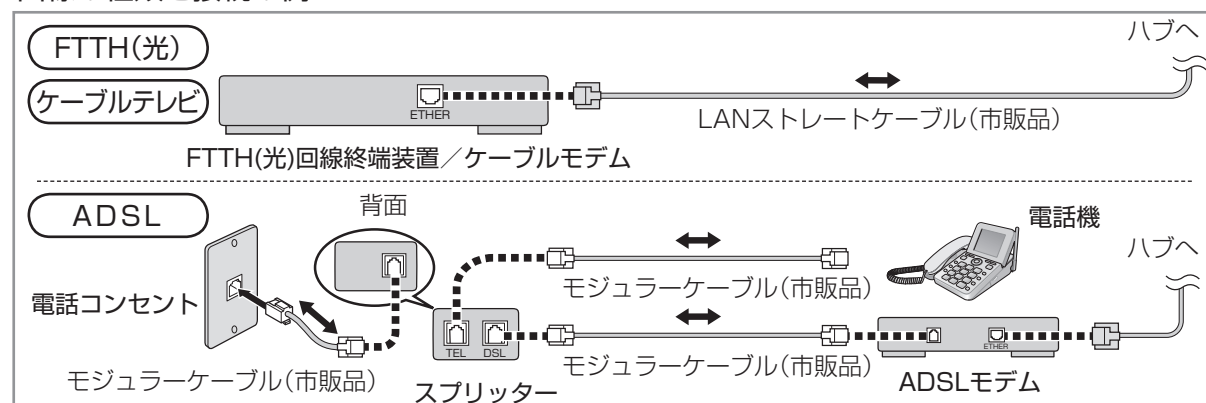
- ブロードバンド環境に接続する際は、パソコンでの設定が必要になることがあります。

USBハードディスクからのダビング

(☞ 52ページ)



回線の種類と接続の例



接続・設定

すでにパソコンでインターネットを利用している場合は、本機のLAN端子とルーターなどのLAN端子を接続してください。

LANストレートケーブルでの接続(本機のLAN端子へ)

ネットワーク接続の設定をする

(☞ 57ページ)

お知らせ

- 電話用のモジュラーケーブルをLAN端子に接続しないでください。故障の原因になります。
- FTTH(光)、CATVなどのブロードバンド環境が必要です。プロバイダーや回線業者と別途で契約(有料)していただく場合があります。詳しくは、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。
- プロバイダーや回線業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- 本機ではインターネット(LAN)接続機器などの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。

■ハブまたはブロードバンドルーターについて

- ハブまたはブロードバンドルーターは、10BASE-T、100BASE-TXに対応のものを使用してください。(100BASE-TX用の機器を使用する場合は「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。)
- 本機に接続したDHCP*でのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
- 本機にDHCPでのIPアドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続しているとき、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。時間をおいて(約3分間)再度試してください。

※DHCPとは、サーバーやブロードバンドルーターが、IPアドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

ネットワーク接続の設定

- 1 メニューを押す
- 2 「ネットワーク設定」を選び、「決定」を押す
- 3 「ネットワーク接続」を選び、「決定」を押す
- 4 「かんたん設定」を選び、「決定」を押す
 - 画面の表示内容に従って設定してください。
 - 「詳細設定」を選ぶと、「本機の名称/IPアドレス/DNS設定」を個別に設定することができます。
- 5 ネットワーク状態の画面が表示されたら、「終了」を選び、「決定」を押す

(終わったら元の画面を押す)



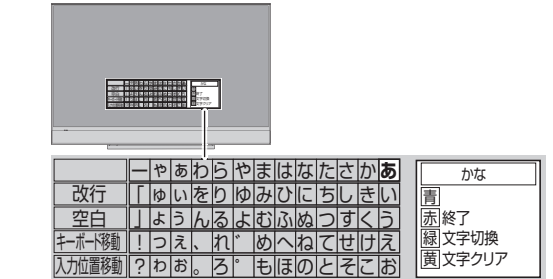
詳しくは: [?] → 「ネットワーク」 → 「ネットワークを利用するための接続設定をする」

文字入力について

文字入力方法には2種類あります。

画面キーボード方法

画面上にキーボードを表示して▲▼◀▶で文字や項目を選び、入力します。(工場出荷時)

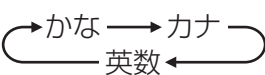


- キーボードの位置を移動させるときは、▲▼◀▶で「キーボード移動」を選び、「決定」を押す。(左下または右上に移動)
- キーボードを消すときは、「赤」ボタンを押す。

文字入力のしかた

例)「映画」と入力するとき

- (1) **緑** ボタンを押して入力文字を切り換える
 - 押すたびにキーボードが切り換わります。



- (2) ▲▼◀▶でキーボードから文字を選び、「決定」を押す
- (3) **青** ボタンを押して、▲▼で漢字を選び、「決定」を押す
 - 変換しないときは「赤」ボタンを押す。



- (4) **赤** ボタンを押して終了する
キーボードの表示が消えます。

- 文節を分けて変換するとき
「青」ボタンで変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。 **えいが**
- 記号を入力するとき
「きごう」と入力して「青」ボタンを押し、▲▼で記号を選び、「決定」を押す。
- 全角の英数字を入力するとき
英数モード(半角)で入力し、「青」ボタンを押して変換する。

- 「予測方式」のとき(「予測方式」/「通常方式」の切り換えは 59ページ)

- (1) 文字を選び、「決定」を押すと、
キーボード上に候補を表示



- 「青」ボタンを押すと、一時的に通常方式の変換に戻る。

- (2) ▲▼◀▶で選び、「決定」を押す

- 文字を追加するとき
(1) キーボードの「入力位置移動」を選び、「決定」を押す
(2) 追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、「決定」を押す
(3) 文字を入力する

- 文字を削除するとき
上記「文字を追加するとき」(1)のあと、削除する文字の左側に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。

リモコンボタン方法

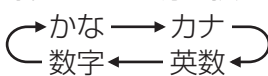
リモコンの数字ボタンを使い、携帯電話と同じような操作で入力します。

- 文字入力一覧表(59ページ)

文字入力のしかた

例)「映画」と入力するとき

- (1) **緑** ボタンを押して入力文字を切り換える
 - 押すたびに切り換わります。



- (2) 「かな」を選び、「決定」を押す
- (3) 入力画面で「えいが」と入力
 - 次のように入力します。

「え」: **1** (4回)

▶

「い」: **1** (2回)

「が」: **2** (1回)

→ **10** (1回)

えいが

- 同じボタンの文字を続けて入力するには、▶でカーソルを右へ移動させる。

- (4) ▲▼で漢字を選び、「決定」を押す



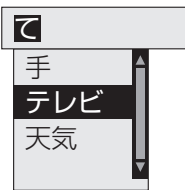
- (5) 「決定」を押して確定する

- 文節を分けて変換するとき
▲▼で変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。 **えいが**

- 記号を入力するとき
「きごう」と入力して▲▼を押し、▲▼で記号を選び、「決定」を押す。

- 「予測方式」のとき
(「予測方式」/「通常方式」の切り換えは 59ページ)

- (1) 1文字入力すると候補を表示
- (2) ▲▼で選び、「決定」を押す



- 「緑」ボタンを押すと、一時的に通常方式の変換に戻る。

- 全角の英数字を入力するとき
英数モード(半角)で入力し、▲▼で変換する。
- 文字を追加するとき
追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、文字を入力する。
- 文字を削除するとき
削除する文字の左側に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。

文字の入力設定

入力方法を選ぶ(リモコンボタン/画面キーボード)

- (1) **メニュー** ボタンを押す
- (2) 「機器設定」を選び、「決定」を押す
- (3) 「その他の設定」を選び、「決定」を押す
- (4) 「文字入力設定」を選び、「決定」を押す
- (5) 「入力方法」を選び、「リモコンボタン」または「画面キーボード」を選ぶ
終わったら「元の画面」を押す。

変換方式を選ぶ(予測方式/通常方式)

- (1) **メニュー** ボタンを押す
- (2) 「機器設定」を選び、「決定」を押す
- (3) 「その他の設定」を選び、「決定」を押す
- (4) 「文字入力設定」を選び、「決定」を押す
- (5) 「変換方式」を選び、「通常方式」または「予測方式」を選ぶ
終わったら「元の画面」を押す。

リモコンボタン方法での文字入力一覧表

ボタン	かな	カナ	英数	数字
1	あいうえお あいうえお1	アイウエオ アイウエオ1	@ . / : ~ _ # \$ % * + = ^ ` 1	1
2	かきくけこ2	カキクケコ2	a b c A B C 2	2
3	さしすせそ3	サシスセソ3	d e f D E F 3	3
4	たちつとっ4	タチツテトッ4	g h i G H I 4	4
5	なにぬねの5	ナニヌネノ5	j k l J K L 5	5
6	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	m n o M N O 6	6
7	まみむめも7	マミムメモ7	p q r s P Q R S 7	7
8	やゆよゃゅょ8	ヤユヨャュョ8	t u v T U V 8	8
9	らりるれろ9	ラリルレロ9	w x y z W X Y Z 9	9
10	、。？！・ () 0	、。？！・ () 0	- . ; ' " ? ! & ¥ () < > [] { } 0	0
11	わをんわーッ ワオンワーッ	ワオンワーッ	ッ	*
12	改行	改行	改行	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。
(例:「い」を入力するときは**1**を2回押す)
未確定の文字があるときに**12**を押すと、表の逆順で文字が変わります。
- 濁点(・)や半濁点(゜)を入力するときは、文字に続けて**10**を押す。

文字入力について

必要なとき

メニュー一覧

- 本機のメニュー(メニューを押すと表示)は、下記のように構成されており、設定や調整などができます。
- 下記メニュー一覧はメニューの一部を記載しています。
- メニューの操作など、詳しくはビエラ操作ガイドをご覧ください。
- メニュー画面にも、説明が表示されます。

メニュー
映像調整
映像モード
バックライト
ピクチャー
黒レベル
色の濃さ
色あい
シャープネス
色温度
ビビッド
液晶AI
明るさオート
NR
HDオブティマイザー
テクニカル
画質の詳細設定
オプション機能
画面の設定
画質設定コピー
標準に戻す
音声調整
音声モード
バス
トレブル
イコライザー
バランス
サラウンド
ヘッドホン/イヤホン音量
音量オート
音量補正
壁寄せ設定
音声ガイドの設定
HDMI音声入力設定*
スピーカーとイヤホン音声の同時出力
標準に戻す

ネットワーク設定
ネットワーク接続
かんたん設定
詳細設定
本機の名称変更
IPアドレス自動取得
IPアドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス
DNS-IP自動取得
DNS
プロキシサーバー設定
ネットワーク状態確認
ネットワーク状態
ソフトウェアの更新確認
ソフトウェアの更新通知
タイマー設定
時間指定予約
予約方式
放送種別／チャンネル
曜日／日
開始時刻
終了時刻
録画機器
その他の設定
予約せず戻る
予約する
オンタイマー
オンタイマー
時刻
時刻読み上げ設定
音量
放送／入力
チャンネル
チャンネル名
時刻読み上げ中止

タイマー設定(つづき)
無操作自動オフ
無信号自動オフ
機器設定
エコナビ
おすすめ設定
標準に戻す
省電力モード
明るさオート
エコナビ表示
ビエラリンク
電源オフ連動
ECOスタンバイ
こまめにオフ
無操作自動オフ
無信号自動オフ
USB機器一覧
録画設定
探して毎回予約
録画ボタン設定
オートチャプター
USB HDD機能待機
ダビング履歴
制限項目設定
暗証番号変更
視聴可能年齢
暗証番号削除
表示の設定
字幕の設定
ビデオ入力表示書換/スキップ設定
タイトル表示
時計表示

機器設定(つづき)
ビエラリンク(HDMI)設定
ビエラリンク
電源オン連動
電源オフ連動
ECOスタンバイ
こまめにオフ
ケーブルテレビの電源オン連動
ディーガの操作
テスト(ディーガ電源)
かんたん設置設定
設置設定
受信対象設定
チャンネル設定
番組表設定
地域設定
受信設定
リモコン設定
クイックスタート
B-CASカードテスト
システム設定
個人情報リセット
放送メール
B-CASカード
ボード
放送ダウンロード予約
ライセンス情報
ルート証明書
その他の設定
文字入力設定
選局対象

ヘルプ
ビエラ操作ガイド
ネットで使い方ガイド
映像音声テスト
ID表示

*HDMI入力時にのみ表示されます。

商標などについて

- HDAVI Control™は商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfacelは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
- 米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド(EPG)が使用できない場合があります。当社はテレビ番組ガイド(EPG)の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn"©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.
- 富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2010-2014

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニックにより、又はパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) オープンソースソフトウェア

上記(3)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細については、本製品の「メニュー→機器設定→システム設定→ライセンス情報→ソフト情報表示」に記載の所定の条件をご参照ください。

This product incorporates the following software:

- (1) the software developed independently by or for Panasonic Corporation,
- (2) the software owned by third party and licensed to Panasonic Corporation,
- (3) open sourced software

The software categorized as (3) is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Please refer to the detailed terms and conditions thereof shown in the

"メニュー→機器設定→システム設定→ライセンス情報→ソフト情報表示" menu on this product.

壁掛け金具の設置 (別売品)

別売の壁掛け金具を取り付けて設置することができます。
本機を設置する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、本機専用の壁掛け金具を必ずご使用ください。

■ 壁掛け金具(別売品)(2014年2月現在)

品番 TH-50A1SS/TH-32A1SS…TY-WK3L2R

TH-50A1SS: 角度を0°(垂直)、下向き5°、10°に変えられます。

TH-32A1SS: 角度を0°(垂直)、下向き5°、10°、15°、20°に変えられます。

- 壁掛け金具の設置について<TH-32A1SSのみ>
本機に付属している取り付けねじ(M4×35)4本を使用します。
壁掛け金具に付属している取り付けねじは使用しません。

□ 壁掛け金具取り付け用部品(TH-32A1SSにのみ付属)

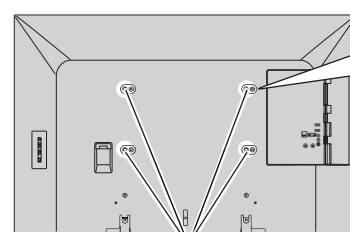


取り付けねじ(六角穴付き皿ねじ)
M4×35 …………… <4>

(品番: THE4GC002J) 転倒・落下防止部品と同じ袋に入ってます

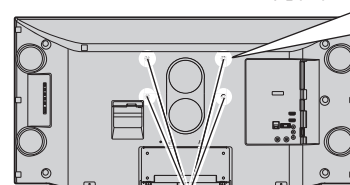
- 壁掛け金具の施工説明書もあわせてご覧ください。

<TH-50A1SS 背面>



取り付け用ねじ穴

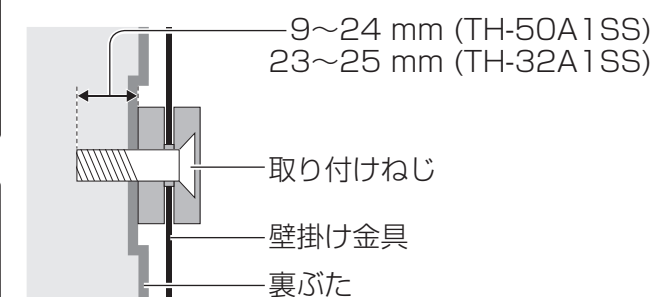
<TH-32A1SS 背面>



取り付け用ねじ穴

専用壁掛け金具または本機に付属している取り付けねじは、壁掛け金具の取り付け面からの長さが以下のように設定されています。

<壁掛け金具取り付け部断面図>



- 専用壁掛け金具または本機に付属の取り付けねじ以外は使用しないでください。

お願い

- 壁掛け金具の取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお買い上げの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 設置時、衝撃などによって本機が破損することがありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した部品類は、元に戻す場合に必要となりますので大切に保管してください。
- 先端部の長いケーブルを使用するときは、壁面にケーブル先端部が干渉し、本機の入力端子を傷めることがあります。
このような場合は、ケーブルの先端が壁面に干渉しないよう、壁掛け金具の角度を調整してください。

取り扱いについて

お手入れについて

■キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布(綿・ネル地・クリーニングクロスなど)で軽くふき取ってください。

- 化学ぞうきんは使用しないでください。含まれている成分によっては、キャビネットや液晶パネルの表面が変質したり、ひび割れなどの原因になることがあります。
- 市販のクリーニングクロス(テレビ用)をご使用の際、下に記載したものは使用しないでください。ひび割れなどの原因になることがあります。
※成分表示に流動パラフィンや界面活性剤と記載のあるもの、ウェットタイプ、クリーニング液を使うもの
- ひどい汚れは、ほこりをはらったあと、水で100倍程度に薄めた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



■スプレー洗剤などは直接かけないでください。

水などの液体が内部に入ると、故障の原因になります。

キャビネットについて

■殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけないでください。

- また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。キャビネットの変質や塗装がはがれる原因になります。

液晶パネルについて

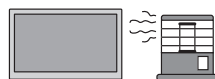
■液晶パネル表面は特殊な加工をしています。

- かたい布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

設置するとき

■直射日光を避け、熱器具から離す

- キャビネットの変形や故障の原因になります。

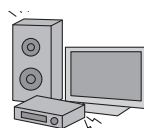


■本機を設置するとき

- 必ず2人以上で行ってください。(TH-50A1SSのみ)
- 据置きスタンドの取り付けは、安全に作業するために、指定の手順以外では行わないでください。(P.13~15ページ)液晶パネル内部の破損の原因となります。

■機器相互の干渉に注意する

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけます。



■接続は電源を「切」にしてから行う

- 各機器の説明書に従って、接続してください。(録画機器、ゲーム機器など)

■本機を移動するとき

- 必ず2人以上で運んでください。(TH-50A1SSのみ)
- 液晶パネル面を上または下にしての移動は液晶パネル内部の破損の原因となります。

■アンテナは定期的に点検を行う

- 風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。映りが悪くなったら、お買い上げの販売店にご相談ください。



■良好な画面で見るために

- アンテナ線は、同軸ケーブルをご使用ください。

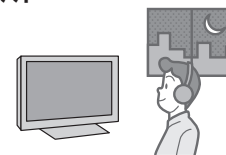
■包装箱に入れて本機を運搬するときは、必ず立てた状態で行う

- 絶対に横に倒した状態で運送・移動は行わないでください。パネル面が進行方向と平行になるように運送してください。
- 必ず2人以上で安定した体勢で運搬してください。(TH-50A1SSのみ)
- 包装箱が倒れないように手で支えてください。
- トラックなどの荷台に載せて運送する場合は、転倒したり滑ったりしないように固定してください。

ご使用になるとき

■適度の音量にして隣近所へ配慮する

- 特に夜間は、窓を閉めたりヘッドホンの使用をおすすめします。
- 音量を下げると、消費電力や音のひずみも少なくなります。



■見る距離と部屋の明るさは

- 画面の縦の長さの約3倍程度、また新聞が楽に読める明るさでご視聴ください。

■本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房を入れて急に部屋の温度が上がったりした場合、温度差により本機の表面や内部に結露が起ることがあります。そのままご使用になると故障の原因になります。

- 部屋の温度になじむまで本体の電源を「切」にしておいてください。(約2~3時間)
- 温度変化が起こりやすい場所や湿度が高い場所(湯気が立ち込めている場所など)には設置しないでください。

■テレビの上部や液晶パネル面の温度が高くなることがあります。

- 本体天面や液晶パネル面の温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。(本体の通風孔はふさがないように、ご使用ください)

■テレビ本体や内部から音が聞こえる場合があります。

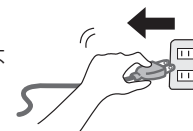
- テレビから時々、「ピシッ」と音がする画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。
- テレビ内部から「カチッ」と音がする番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。デジタル放送を録画予約したときなど、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。

長時間使用しないときは

■電源プラグをコンセントから抜いてください。

(TH-50A1SS)

- リモコンで電源を切った場合は約0.1 W、本体の電源を切った場合は約0.1 Wの電力を消費します。



(TH-32A1SS)

- リモコンで電源を切った場合は約0.2 W、本体の電源を切った場合は約0.2 Wの電力を消費します。

液晶パネルについて

■画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99パーセント以上の有効画素がありますが、0.01パーセントの画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

■残像が発生する場合があります。

- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。

■液晶パネルとキャビネットの間には隙間があります。また、液晶パネルを押すと動いたり、「カタカタ」と音がする場合があります。

- 液晶パネルに力が加わらないように遊びを設けていますので、故障ではありません。

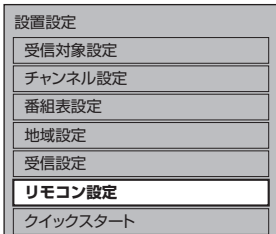
- 映像が出ないなど表示がおかしい、または急にリモコンが操作できなくなった
 - 本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。
万が一「リモコンが操作できない」「表示が乱れる」など、何かおかしいと感じられたときは、電源プラグをコンセントから抜き、約5秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。
- 電源が入らない
 - 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？(P.29ページ)
 - 電源コードが本体から抜けていませんか？(P.29ページ)
 - リモコンの場合は、本体の電源が「入」になっていますか？(P.19ページ)
 - リモコンを本体のリモコン受信部に向けて操作していますか？(P.18ページ)
 - リモコンモードが違っていませんか？(P.67ページ)
- リモコンを操作していないときに電源ランプが点滅する
 - 本体の電源を「入」にすると、テレビ起動中、電源ランプは緑色点滅します。
 - 電源プラグをコンセントから抜き、約5秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。
上記の操作で直らないときは、故障の可能性があります。お買い上げの販売店または70ページの連絡先にご相談ください。
- リモコンで操作できない
 - 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？(P.21ページ)
 - リモコン受信部に向けて操作していますか？(P.18ページ)
 - リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？(P.18ページ)
 - 受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。
本体の電源を「切」にし、再度「入」にしてください。(P.19ページ)
 - リモコンモードが違っていませんか？(P.67ページ)
- リモコンの数字ボタンで選局できない
 - 選局時に「このボタンにチャンネルは設定されていません」というメッセージが表示された場合は、放送切換ボタンを押してから、再度、数字ボタンを押してください。
(P.20ページ)
- 音声ガイドが実際の読みかたと異なる読み上げを行う
 - 機械による読み上げのため、実際の読みかたと異なる場合がありますが、故障ではありません。

デジタル放送からのダウンロードにより、常に制御プログラムを最新の状態にしてください。
テレビの視聴後は、リモコンで電源を「切」にすることにより、ダウンロードが可能になります。
リモコンで電源「切」の間に、最新の制御プログラムが自動受信されます。

リモコンモードの設定

本機の近くに別の当社製テレビがあるとき、リモコンの操作をすると別のテレビが動作してしまうことがあります。同時に動作することを防ぐには、下記の手順でリモコンモードを変更してください。

- 1 を押す
- 2 「機器設定」を選び、「決定」を押す
- 3 「設置設定」を選び、「決定」を押す
- 4 「リモコン設定」を選び、「決定」を押す
- 5 「受信リモコンモード設定」を選び、「決定」を押す
- 6 「リモコンモード」を選び、「決定」を押す
- 7 本体側のリモコンモードを選択し、「決定」を押す
- 8 リモコンモードを設定する



リモコンモード1を選択した場合	  1 を同時に3秒以上押す
リモコンモード2を選択した場合	  2 を同時に3秒以上押す

- 9 リモコン受信部に向けて「決定」を押す
 - 設定後は「元の画面」を押すとテレビ画面に戻ります。

リモコンモードの設定が変更されました。

- リモコンを紛失した場合は
本体のリモコンモードを「モード2」に設定してお使いの場合に、リモコンを紛失されたときは、下記の手順で「モード1」に変更してください。
(1) リモコンモード1に設定された別のパナソニック製テレビのリモコンの「消音」ボタンを約5秒間押す。
(2) リモコンモード強制リセットの確認パネルが表示されたら、再び、「消音」ボタンを約3秒間押す。
(3) お使いのリモコンで本体の操作ができるか確認する。

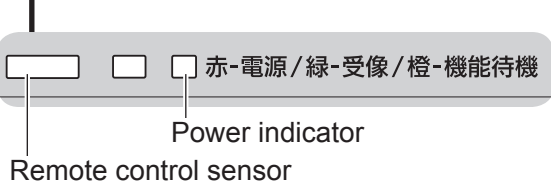
Quick Reference Guide

Basic Operations

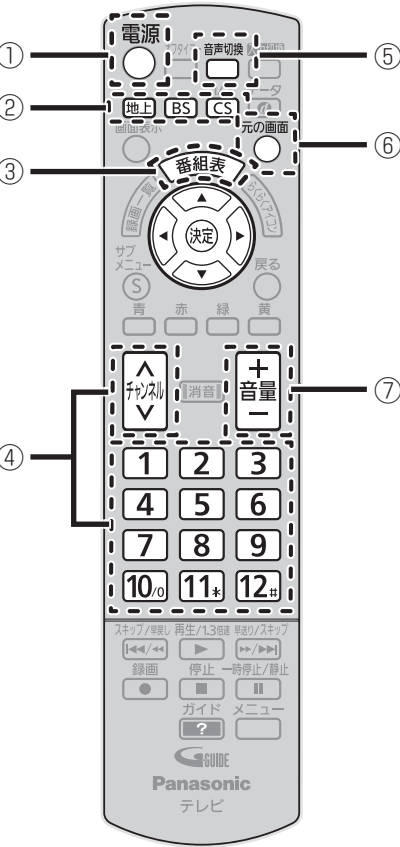
<TH-32A1SS>



<TH-50A1SS>

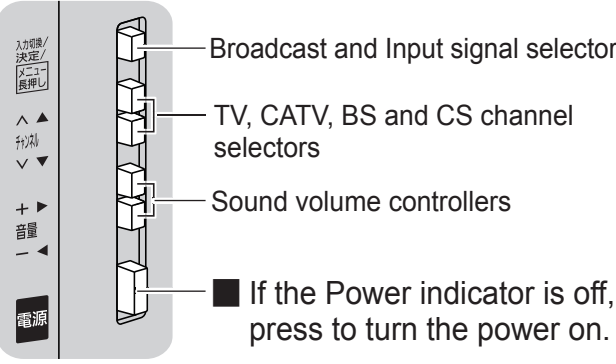


Do not place any objects between the TV remote control sensor and remote control.



- For more detailed instructions on the operation, points of caution, maintenance and what to do in case of malfunction, please contact the place of purchase.
- The instructions and illustrations indicated are for TH-50A1SS.

If the Remote control is not usable, operate these controls on the TV.



If the Power indicator is off, press to turn the power on.

- Power ON / OFF**
Pointing at the Remote control sensor on the TV, operate your Remote control. (Within about 7 meters in front of the TV set.)
- Select a broadcast**
- EPG button**
Electronic Program Guide (EPG) provides an on-screen listing of the programs currently broadcast.
- Select a channel**
- Audio selector button**
While watching a multilingual program, press to select a language.
- Original screen button**
When EPG or menu screen is displayed, press to go back to the original TV broadcast screen.
- Control the sound volume**

仕様

●このテレビを使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式および電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

テレビ本体		
品番	TH-50A1SS(50V型)	TH-32A1SS(32V型)
種類	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ	
使用電源	AC100 V 50/60 Hz	
消費電力	91 W	73 W
	本体電源「切」時 約0.1 W リモコンで電源「切」時 約0.1 W (データ取得時*や各種機能が「オン」設定時(電源ランプが橙色点灯時 18ページ)などは除く) (クイックスタート「入」設定時、データ取得時*、またはUSBハードディスク予約録画実行時 最大約14 W) ※放送局からの番組表や情報を電波を通して受信するとき	本体電源「切」時 約0.2 W リモコンで電源「切」時 約0.2 W (データ取得時*や各種機能が「オン」設定時(電源ランプが橙色点灯時 18ページ)などは除く) (クイックスタート「入」設定時、データ取得時*、またはUSBハードディスク予約録画実行時 最大約13 W) ※放送局からの番組表や情報を電波を通して受信するとき
年間消費電力量	61 kWh/年(スタンダード時)	47 kWh/年(スタンダード時)
区分名	DF1 (FHD、液晶ノーマル、付加機能1)	DN1 (FHD以外、液晶ノーマル、付加機能1)
受信可能放送	地上デジタル*(CATVパススルー対応)/BSデジタル/110度CSデジタル ※ワンセグ放送は除く	
音声実用最大出力	30 W(15 W+15 W)JEITA、 スピーカー(フルレンジ 2個)	30 W(15 W+15 W)JEITA、 スピーカー(フルレンジ 4個)
表示パネル	液晶パネル 駆動方式:IPS方式、バックライト:LED	
画素数	水平 1920×垂直 1080	水平 1366×垂直 768
画面寸法	幅109.6 cm 高さ61.6 cm 対角125.7 cm	幅69.8 cm 高さ39.2 cm 対角80.0 cm
動作使用条件	周囲温度:0℃~40℃、相対湿度:20%~80%(結露なきこと)	
接続端子	NTSC関連	●ビデオ入力 映像:1 V[p-p] (75 Ω) 音声:左・右 0.5 V[rms]
	D端子ビデオ関連	●D4映像(Y:1 V[p-p] (75 Ω)、 Pb/Cb:0.7 V[p-p] (75 Ω)、 Pr/Cr:0.7 V[p-p] (75 Ω)) 音声:左・右 0.5 V[rms] (音声はビデオ入力と兼用) 入力(480i、480p、720p、1080i)自動切替式
	衛星関連	●BS・110度CS-IF入力(75 Ω) 兼 衛星アンテナ用電源(DC15 V)出力
	HDMI入力	●HDMI端子 2系統:本機はヒエラリンク(HDMI) Ver.5に対応しています。 対応信号について(25ページ)
外形寸法	据置きスタンド含む	幅113.0 cm 高さ75.1 cm 奥行26.0 cm
	本体のみ	幅113.0 cm 高さ72.7 cm 奥行6.0 cm
質量	据置きスタンド含む	約 16.0 kg
	本体のみ	約 15.0 kg
角度調整範囲	固定	

- 年間消費電力量:省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
- 区分名:「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分の名称です。
- テレビのV型(50V型/32V型)は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

リモコン (品番:N2QAYB000814)	使用電源	DC3 V (単3形乾電池2コ)	操作距離	約 7 m以内 (テレビ正面距離)
	質 量	約 150 g (乾電池含)	操作範囲	左右各 約30° 以内 上下各 約20° 以内

保証とアフターサービス

使いかた・お手入れ・修理 などは…
■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

66ページの故障かな!? とビエラ操作ガイド
(トップページ)の「困ったときは」に従ってご確認
のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜い
て、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 地上・BS・110度CSデジタル
 ハイビジョン液晶テレビ
●品 番 TH-
●故障の状況 できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。 ※補修用性能部品の保有期間 **8年**
技術料 診断・修理・調整・点検などの費用 当社は、このテレビの補修用性能部品(製品
部品代 部品および補助材料代 の機能を維持するための部品)を、製造打ち
出張料 技術者を派遣する費用 切り後8年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください
ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック VIERA(ビエラ)ご相談窓口 365日 受付9時～20時
パナは キュウハチイチ
電 話 フリー 0120-878-981
 タイヤル ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は……………

パナソニック 修理ご相談窓口
パナは イイヨ
電 話 フリー 0120-878-554
 タイヤル ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
・上記電話番号がご利用いただけない場合は、
各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに
利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただく
ときのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託
する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い
合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

よくお読みください

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。
・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5
	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
首都圏地区	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
中部地区	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市中区瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鷗4丁目42
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
近畿地区	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
中国地区	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
四国地区	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
九州地区	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。 <http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html> 0513

保証とアフターサービス(よくお読みください)

必要なとき